

令和 3 年度

事業報告

日本赤十字社富山県支部

ごあいさつ

富山県民の皆様並びに地区分区をはじめとする関係者の皆様には、日頃から赤十字事業に深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

日本赤十字社は、赤十字の基本原則に基づき、支援を必要とする人々に広く博愛の手を届けるべく、国内外において様々な人道活動を積極的に展開しております。

さて、2月に拡大したウクライナ紛争では、多数の市民の死傷者が報告され、ウクライナ国内外に膨大な数の人々が避難しています。この人道危機に対し、国際赤十字は丸となって国際人道法の遵守を訴えるとともに、被害者や避難者に対して、医療や救援物資の提供をはじめ様々な支援活動を展開しております。日本赤十字社においても、救援金を募集、拠出するとともに、要員を派遣する等支援活動を続けております。

また、新型コロナウイルス感染症は現在も社会経済に大きな影響を与えておりますが、富山赤十字病院におきましては、感染症病棟の設置による感染患者の治療やワクチン接種等による感染拡大の防止にあたりとともに、血液センターにおきましても、安全安心な献血会場の運営や予約制の推進を図り、血液製剤の安定的な確保に努めております。富山県支部におきましても、新型コロナウイルス感染症による差別、偏見を防止する啓発に取り組んだところです。

自然災害に関しましては、3月に福島県沖を震源とする震度6強の地震が起きましたし、大雨、台風等による災害も毎年のように大きな被害をもたらしています。

富山県支部におきましては、コロナ禍においても必要な救護活動ができるよう実働訓練や装備の充実、参加者同士の接触を伴わない方法での救急法等の講習、避難所における感染防止のための大型サーキュレーターの配備等を進めました。また、赤十字運動を支える奉仕団の活動や将来を担う青少年赤十字の活動、安全で家庭的な養育を行う乳児院の運営などについても、感染防止に細心の注意を払いながら取り組んでまいりました。

これらの赤十字事業の推進に必要な事業資金につきましては、社会経済情勢が厳しい中ではありますが、地区分区、自治振興会、町内会、奉仕団、有功会をはじめ多くの関係の皆様のご尽力とご支援により目標を達成することができました。

ここに令和3年度の事業報告をお届けするにあたり、関係各位のご支援ご協力に重ねて感謝申し上げます。

日本赤十字社富山県支部では、今後とも、地域社会のニーズに即した赤十字活動を推進し、県民の皆様の期待に応えて参りたいと存じますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年5月

日本赤十字社富山県支部

支部長 新 田 八 朗

目 次

■新型コロナウイルス感染症による影響とその対応	1
1 評議員会等の開催	3
(1) 評 議 員 会	3
(2) 監 査	3
2 災 害 救 護	4
(1) 国内の災害（義援金の受付）	4
(2) 国外の紛争・災害（救援金の受付）	4
(3) 富山県内の災害への対応	4
(4) 新型コロナウイルス感染に対する対応	4
(5) 救護班等の編成と救護要員の研修	6
(6) 救 護 訓 練	7
(7) 救護資材の整備	8
(8) 災害救援車の配備	9
(9) 救援物資の備蓄と交付	10
(10) 臨 時 救 護	11
(11) 防 災 教 育 事 業	11
(12) 海 浜 救 護	12
(13) 救護資材の貸し出し	13
(14) 災害義援金・救援金受付状況	13
3 赤十字救急法等の講習	14
(1) 救 急 法	14
(2) 水 上 安 全 法	18
(3) 健康生活支援講習	19
(4) 幼 児 安 全 法	21
4 赤十字奉仕団	24
(1) 赤十字奉仕団結成状況	24
(2) 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会役員	26
(3) 主な奉仕団関係行事	27
(4) 奉仕団活動内容	29
(5) 赤十字奉仕団活動に基づく表彰	30
5 青少年赤十字	31
(1) 青少年赤十字加盟状況	32
(2) 富山県青少年赤十字指導者協議会役員	34
(3) 講習会等の開催	34
(4) 青少年赤十字活動実践校	36
(5) 富山県青少年赤十字賛助奉仕団	36
(6) 青少年赤十字指導講師	36
(7) 青少年赤十字防災教育事業	37
6 社会福祉活動	38
(1) 在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動	38
(2) 身体障害者への援護	38
7 救護看護師の養成	39
日本赤十字豊田看護大学	39
8 国 際 活 動	39

9 医療事業	41
(1) 富山赤十字病院	41
(2) 富山赤十字訪問看護ステーション	43
(3) 愛宕・安野屋地域包括支援センター	43
(4) 富山赤十字ケアプラン事業所	43
(5) 患者支援センター	43
10 血液事業	44
(1) 令和3年度実績の概要	44
(2) 献血時の健康診断基準及び採血前検査の変更	44
(3) 新型コロナウイルス感染予防対策	45
11 社会福祉事業	46
児童福祉施設	46
12 会員の増強と社資の確保	47
(1) 赤十字運動月間を中心としての赤十字思想の普及	47
(2) 会員の増強	47
(3) 地区分区との協力体制の強化	48
(4) 企業とのパートナーシップ	48
(5) 遺贈寄付に関する協定締結	48
(6) 社資功労感謝状伝達式	49
(7) 富山県赤十字有功会総会	49
(8) 全国赤十字大会	49
(9) 日赤紺綬・有功会会長協議会の総会	49
(10) 社資の募集実績	50
13 赤十字思想の普及	52
(1) 事業を通じての広報	52
(2) マスコミを通じての広報	52
(3) 刊行物等による広報	52
(4) 広報視聴覚資材一覧	53
14 支部・施設間の連絡調整	53
15 日本赤十字社富山県支部役員名簿	54
16 日本赤十字社富山県支部・施設一覧	55
資料Ⅰ 地区分区分別 活動状況	
17 救護装備品配備状況	58
18 令和3年度地区・分区救援物資分置状況	59
19 救援物資交付状況	60
20 令和3年度講習実績一覧表	61
21 赤十字奉仕団活動一覧	66
資料Ⅱ 決算概要	
(1) 令和3年度一般会計歳入歳出決算説明書	78
(2) 令和3年度医療施設特別会計決算説明書	79
(3) 令和3年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算説明書	81

■ 新型コロナウイルス感染症による影響とその対応

災害救護

第3ブロック（東海・北陸）の広域救護訓練として、想定避難所を設定し、リモートを活用した巡回診療訓練を実施した。また、当支部施設救護訓練においては、実際の感染防御、拡大阻止対策に沿った装備により実動訓練を実施した。他機関の訓練中止や規模の縮小もあったが、訓練実施にあたっては感染防止対策を徹底した。

避難所での感染防止対策として県内179ヶ所の小学校（避難所）へ大型サーキュレーターを5ヶ年計画で配備することとしており、令和3年度は50ヶ所に配備した。

赤十字救急法等の講習

感染防止対策の徹底を図ったうえで、全社統一の暫定措置による基礎講習を再開するとともに、ペットボトル等を参加者に持参してもらう方式や、依頼団体の会場とリモートで結ぶ方式など、接触を伴わない短期講習を拡充して実施した。救急員等の養成講習については、接触を避けることができないことから中止した。

赤十字奉仕団

奉仕団へ非接触型体温計を配備するなど、感染予防策を講じた上で、できる限りの活動を行った。

青少年赤十字

参集型のリーダーシップ・トレーニング・センターは開催できなかったが、高校生のトレセンや教員研修はリモートにより開催するなどした。また本社主催行事の各種会議やメンバー交流等についても Web を活用するなど開催に努めた。

社会福祉活動

マスクの着用、なるべく短時間の訪問とするなど感染防止に留意しながら、在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動を行った。

医療事業

昨年度に引き続き、県の要請を受け感染症指定病院の重点医療機関・協力医療機関として対応しており、新型コロナウイルス感染症病棟（19床）を設置し感染患者を受け入れたほか、医療従事者、高齢者、一般市民を対象としたワクチン接種や、集団接種会場への医師・看護師の派遣、行政PCR検査等を行っている。また、感染患者に対する診療能力向上のため、人工呼吸器、超音波診断装置、個人用透析装置などの医療機器を整備した。

血液事業

検温と手指消毒など徹底した感染対策を行い「新しい生活様式」に基づいた安心安全な献血会場の運営に努めるとともに、密集や密接を避けるため事前予約の推進を図り、各種団体、行政機関との連携強化や報道機関へ協力要請するなど、献血者の確保に取り組んだ。

社会福祉事業

施設で預かる子どもへの感染を防止するため、職員の感染防止対策を徹底するとともに、「病児・病後児保育」、「ショートステイ」、「里親支援」などの事業活動は人数などを制限し、ボランティア受入れは中止とした。

会員の増強と社資の確保

ダイレクトメールの拡充を図るとともに、寄付をいただいた方に対し、改めて感謝の気持ちを表すとともに引き続きの支援をお願いすべく、お礼の電話をおかけした。

また、北陸銀行と遺言を活用した遺贈寄付に関する協定を結び、更なる社資の確保に取り組んだ。

赤十字思想の普及

日本赤十字社が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」を、防災教育・奉仕団活動・青少年赤十字等の場面で活用し、感染予防や感染症によって生じる差別防止の啓発に取り組んだ。

1 評議員会等の開催

評議員会等の開催状況は、次のとおりであり、各議案異議なく承認された。

(1) 評 議 員 会

ア 第1回支部評議員会

(ア) 期 日 令和3年6月6日

(イ) 場 所 ANA クラウンプラザホテル富山

(ウ) 審議議案

第1号議案 令和2年度支部事業報告について

第2号議案 令和2年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について

(エ) 報 告 令和2年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算について

(オ) そ の 他 富山赤十字病院、富山県赤十字血液センター、受託富山県立乳児院の近況について

イ 第2回支部評議員会

(ア) 期 日 令和4年1月31日

(イ) 開催形態 文書審議

(ウ) 審議議案

第1号議案 令和4年度支部事業計画について

第2号議案 令和4年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出予算並びに血液事業計画について

第3号議案 役員の選出について

(エ) そ の 他 富山赤十字病院、受託富山県立乳児院の近況について

(2) 監 査

ア 期 日 令和3年6月4日

イ 場 所 富山赤十字病院

ウ 監査委員 笹原 靖直、荒井 公夫

エ 監査内容 令和2年度日本赤十字社富山県支部、富山赤十字病院、富山県赤十字血液センター、受託富山県立乳児院における業務の運営及び支部一般会計、医療施設特別会計、社会福祉施設特別会計の歳入歳出決算に係る監査が行われた。

2 災 害 救 護

日本赤十字社は、災害救助法や災害対策基本法に基づき国が行う災害救助に協力することが義務づけられている。災害発生時には、その規模等に応じて各県支部、施設と連携して救護活動を行うとともに、日頃から、いつ、どのような災害が発生しても迅速に出動できるよう救護員の確保や救護訓練をはじめ、救護装備・資材の整備、救援物資の備蓄等を行っている。

令和3年度は、国内において大雨や台風、地震などによる災害が発生し、各地で多くの被害を受けた。国外においても火山噴火や津波、武力紛争が発生した。富山県支部では、下記のとおり義援金や救援金の受付を行った。

(1) 国内の災害（義援金の受付）

- ア 島根県松江市大規模火災（令和3年4月12日～令和3年5月31日）
- イ 令和3年7月大雨（令和3年7月9日～令和3年12月28日）
- ウ 令和3年台風第9号等大雨（令和3年8月18日～令和3年12月28日）
- エ 令和3年8月大雨（令和3年8月23日～令和4年3月31日）
- オ 令和3年長野県茅野市土石流（令和3年9月14日～令和4年3月31日）
- カ 令和4年3月福島県沖地震（令和4年3月23日～令和4年6月30日）

(2) 国外の紛争・災害（救援金の受付）

- ア ハイチ地震（令和3年8月18日～令和3年11月30日）
- イ トンガ大洋州噴火津波（令和4年1月26日～令和4年3月31日）
- ウ ウクライナ人道危機（令和4年3月2日～令和4年9月30日）

(3) 富山県内の災害への対応

- ア 小矢部市強風火災（令和4年3月26日）
 - 全焼世帯及び避難所に救援物資を配付
 - 毛布42枚 緊急セット9個 タオル200枚
 - 鍋セット3個 カセットコンロ3個

(4) 新型コロナウイルス感染に対する対応

万一の災害発生に備え、派遣救護班要員の個人防護具を追加配備した。

また、県内で第1次的な避難所となる公立小学校を対象に、換気を目的とした直径1mの大型サーキュレーターを配備する事業を行った。（5ヶ年で179ヶ所に配備する予定。令和3年度は下記50校へ配備した。参考：令和2年度配備20校）

令和3年度

富山市：光陽小学校・東部小学校・奥田小学校・奥田北小学校・桜谷小学校

五福小学校・神明小学校・岩瀬小学校・萩浦小学校・大広田小学校
浜黒崎小学校・針原小学校・芝園中学校・豊田小学校・広田小学校
新庄小学校・新庄北小学校・藤ノ木小学校
高岡市：成美小学校・博労小学校・川原小学校・西条小学校・万葉小学校
五位小学校・千鳥ヶ丘小学校
魚津市：星の杜小学校
氷見市：比美乃江小学校・宮田小学校・窪小学校
滑川市：南部小学校・西部小学校
黒部市：桜井小学校・たかせ小学校
砺波市：庄南小学校・砺波東部小学校
小矢部市：大谷小学校
南砺市：城端小学校・福光中部小学校
射水市：小杉小学校・歌の森小学校・太閤山小学校・作道小学校
入善町：入善中学校・入善西中学校
朝日町：さみさと小学校
舟橋村：舟橋小学校
上市町：宮川小学校・白萩西部小学校
立山町：利田小学校・立山北部小学校 計50校

(参考) 令和2年度

富山市：柳町小学校・中央小学校・西田地方小学校・堀川小学校・堀川南小学校
高岡市：横田小学校・定塚小学校・平米小学校
魚津市：経田小学校
氷見市：朝日丘小学校
滑川市：田中小学校
黒部市：中央小学校
砺波市：出町小学校
小矢部市：石動小学校
南砺市：福野小学校
射水市：大門小学校・大島小学校
入善町：黒東小学校
上市町：上市中央小学校
立山町：立山中央小学校 計20校

(5) 救護班等の編成と救護要員の研修

ア DMA Tの編成：(富山赤十字病院)

要員 \ 区分	医 師	看護師長	看護師	業 務 調整員	計
D M A T	2	4	7	4	17

イ 救護班の編成

要員 \ 区分	医 師	看護師長	看護師	主 事	自 動 車 操作要員	計
常 備 要 員	8	8	16	8	8	48

ウ 救護員登録状況

救護員区分	救 護 班 要 員						災害対策 本部要員	血液供給 要 員	合計
	医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師			
支 部							10		10
病 院	42	20	299	22	26	5	18		432
血液センター			17				9	11	37
合 計	42	20	316	22	26	5	37	11	479

エ コーディネートチーム

要員 \ 区分	コーディネーター	コーディネートスタッフ	計
コーディネートチーム	1	4	5

オ 救護要員の研修

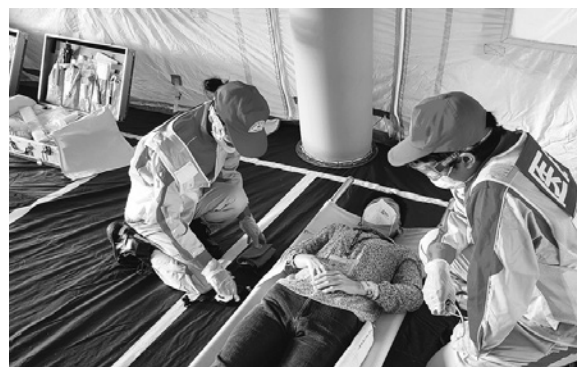
No.	期 日	研修会名	研修会場	対象者	参加人数	主催
1	6月4日(金)	救護班要員研修会	富山赤十字病院教育研修棟	常備救護班要員	8	日赤富山県支部

(6) 救 護 訓 練

災害発生に際し最も迅速を要する被災者の医療救護、搬送、通信、医薬品輸送などの技術的な向上を図るため、毎年、各種の訓練を実施するとともに、県、市町村等が行う防災訓練に積極的に参加している。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練の開催中止や規模縮小となったものもあったが、第3ブロック広域訓練を Web により運営したり、支部・施設実働訓練や支部災害対策本部立ち上げ訓練では、実際の感染拡大防止装備を使用して実施したりするなど、感染対策を徹底し、実働に資する訓練を実施した。

期 日	訓練名	訓練場所	訓練内容	参加者
6月11日(金)	支部・施設合同災害救護訓練	日赤富山県支部	救護資機材運用 救護所設営 医療救護 災害診療記録作成	病院 10 血液センター 2 支部 7
8月1日(日)	富山県総合防災訓練	滑川市、魚津市、 上市町、舟橋村	医療救護	病院 5 支部 3
8月25日(水)	支部災害対策本部設置訓練 (主事研修会)	日赤富山県支部	災害対策本部運用	病院 8 支部 9 血液センター 1
8月29日(日)	射水市総合防災訓練	射水市	救急法指導	規模縮小のため 派遣中止
9月6日(月)	富山空港消火救難訓練	富山空港	医療救護	開催中止
10月2日(土)	富山市総合防災訓練	富山市	医療救護	開催中止
10月17日(日)	日本赤十字社第3ブロック 支部合同災害救護訓練	日赤富山県支部 (Web)	Web 開催 救護班参集 医療救護 災害診療記録作成 J-speed 入力	病院 10 支部 4 第3B各支部・病院 7県支部 23 7県病院 40
10月23日(土) 10月24日(日)	中部ブロックDMA T訓練	石川県		開催中止
11月9日(火)	富山赤十字病院災害訓練	富山赤十字病院	図上訓練	病院 30
11月10日(水)	富山県国民保護訓練	富山市	図上訓練	支部 2



(7) 救護資材の整備

品 目		数 量		品 目	数 量
救	急 車	1台		浄 水 器	1台
救	援 車	6台		テ ン ト	10張
衛	星 電 話	4台		ド ラ ッ シ ュ テ ン ト	2張
業務無線	基 地 局	2基		ワ ン タ ッ チ テ ン ト	4張
	移 動 局	12台		エ ア テ ン ト	2張
	携 帯 型 移 動 局	22台		折 畳 寝 台	31台
短波無線（アマ無線）		1基		担 架	15台
NBC（災害除染セット）		1セット		担 架 架 台	6台
発	電 機	5台		移 動 組 立 式 炊 飯 器	13基
投	光 器	4台		医 療 セ ッ ト	3セット
患 者	用 毛 布	60枚		初 動 用 医 療 セ ッ ト	1セット
携 帯	ラ ジ オ	5台		ボ ラ ン テ ィ ア ベ ス ト	50着
医 療	用 作 業 台	5台		通 信 用 パ ソ コ ン セ ッ ト	2セット
救護班用放射線防護資材		14セット		モ バ イ ル Wi Fi ル ー タ ー	1台
救 命	胴 衣	15着		携 帯 電 話	1台
A	E D	4台			

(8) 災害救援車の配備

災害救護活動の円滑化を図るため、昭和60年度から管内地区区分へ災害救援車を配備している。

○救援車両一覧

配備先（常置場所）	車両の種別	車種（名称）	製造会社名	取得年月日	登録番号
日赤富山市地区	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H25. 6. 24	富山580は3315
日赤富山市地区（大沢野・細入）	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H25. 6. 24	富山580は3316
日赤富山市地区（大山）	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H19. 6. 21	富山400た1862
日赤富山市地区（八尾）	災害救援車	N V100クリッパー	ニッサン	H27. 7. 10	富山480け9018
日赤富山市地区（婦中・山田）	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H26. 7. 23	富山580は9233
日赤高岡市地区	災害救援車	N V200バネット	ニッサン	H29. 7. 24	富山800す3607
日赤高岡市地区（福岡）	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H17. 9. 15	富山400そ4163
日赤魚津市地区	災害救援車	プロボックス	トヨタ	R 3. 11. 10	富山400と5814
日赤氷見市地区	災害救援車	アルト	スズキ	H30. 11. 15	富山581え5499
日赤滑川市地区	災害救援車	エブリイ PC ハイルーフ	スズキ	R 1. 6. 5	富山480す3732
日赤黒部市地区	災害救援車	プロボックス DX コンフォート	トヨタ	R 3. 9. 30	富山400と5535
日赤黒部市地区（宇奈月）	災害救援車	サクシードワゴン	トヨタ	H24. 6. 29	富山501は4815
日赤砺波市地区	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H19. 6. 27	富山400た1932
日赤砺波市地区（庄川）	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H20. 5. 30	富山400た5252
日赤小矢部市地区	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H28. 8. 26	富山400て253
日赤南砺市地区（城端）	災害救援車	タント	ダイハツ	R 4. 3. 15	富山581た3527
日赤南砺市地区（平）	災害救援車	エブリイバン	スズキ	H22. 8. 25	富山480か5312
日赤南砺市地区（上平）	災害救援車	カローラフィールダー	トヨタ	H26. 7. 28	富山501も840
日赤南砺市地区（利賀）	災害救援車	ラッシュX	トヨタ	H25. 7. 19	富山501み8480
日赤南砺市地区（井波）	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H24. 8. 23	富山400ち7281
日赤南砺市地区（井口）	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H21. 12. 2	富山400た9519
日赤南砺市地区（福野）	災害救援車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	H28. 7. 28	富山480こ5651
日赤南砺市地区（福光）	災害救援車	タント	ダイハツ	H30. 7. 30	富山581え7353
日赤射水市地区（新湊）	災害救援車	ステラ	スバル	H22. 5. 21	富山580ち7485
日赤射水市地区（大島）	災害救援車	ミライース	ダイハツ	H26. 6. 19	富山580は6497
日赤射水市地区（小杉）	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H18. 5. 31	富山501せ5005
日赤射水市地区（大門）	災害救援車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	R 3. 1. 29	富山480せ3304
日赤射水市地区（下）	災害救援車	ウイングロード	トヨタ	H19. 11. 30	富山530の8100
日赤入善町分区	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H29. 7. 6	富山400て3007
日赤朝日町分区	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H29. 6. 5	富山400て2713
日赤舟橋村分区	災害救援車	カローラフィールダー	トヨタ	H21. 4. 14	富山501な9684
日赤上市町分区	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H26. 9. 30	富山501も4274
日赤富山県支部	災害救援車	サファリ	ニッサン	H12. 3. 28	富山300せ7955
日赤富山県支部	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H16. 9. 30	富山500や683
日赤富山県支部	災害救援車	タント	ダイハツ	H19. 11. 22	富山580け8791
日赤富山県支部	救援トラック	キャンター	三菱	H25. 3. 21	富山100す7583
日赤富山県支部	災害通信指令車	アルファード	トヨタ	H25. 3. 22	富山300さ7865
日赤富山県支部	救 急 車	ハイエース	トヨタ	H25. 3. 26	富山800す1288
日赤富山県支部	災害救援車	フィット	ホンダ	R 2. 3. 10	富山502と391

(9) 救援物資の備蓄と交付

県内において発生した火災・水害その他災害の被災者へ迅速に救援物資が交付できるよう、日頃から備蓄、地区分区への分置を行っている。

○災害救援物資備蓄状況

品 名	前年度末現在	取 得	払 出	令和3年度末現在
毛 布 (ケ イ リ ン)	1,526	10	135	1,401
綿 毛 布	244	7	4	247
緊 急 セ ッ ト	997	1	32	966
安 眠 セ ッ ト	354	0	0	354
鍋・ や か ん セ ッ ト	121	2	19	104
ポ ッ ト	16	0	1	15
カ セ ッ ト コ ン ロ	87	21	21	87
タ オ ル	6,864	0	834	6,030
石 鹼	357	4	1	360
タ オ ル ケ ッ ト	300	300	0	600

○災害救援物資等交付基準

区 分		救 援 物 資	
災 害 程 度	全 全 流 焼 壊 失	1人につき 毛 布 4月～5月、10月 1枚 11月～3月 2枚 綿 毛 布 6月～9月 1枚 タ オ ル 10本 1世帯につき 緊急セット 1～4人 1個 5人以上 2個 カセットコンロ 1台 (ガスボンベ3本付) 鍋セット又はポット 1台	
	床 上 浸 水	1世帯につき 緊急セット 1個 タ オ ル 30本 石 鹼 1箱	
弔 慰 金		自然災害および火災による死亡者 1 人	10,000円

- 1 この基準は、平成20年4月1日から実施する。
- 2 大規模災害については実情に応じて行うものとし、この基準にはよらないものとする。
- 3 この基準は、非住家には適用しない。
- 4 災害による死亡者があった場合は、世帯構成人員から死亡者を除いた基準で交付する。
(但し、配分の際に生死が不明の場合はこの限りではない)

地区区分別災害救援物資及び弔慰金交付状況

地区 区分名	世帯数	人数	毛布	綿毛布	緊急 セット	タオル	鍋セット	ポット	カセット コンロ	安眠 セット	石 鹸	弔慰金	
												件数	金額
富山市	6	7	5	2	4	40	1	1	3			3	30,000
高岡市	5	13	25		5	130	5		5			1	10,000
魚津市	2	4	2		1	10	1		1			1	10,000
氷見市													
滑川市													
黒部市	1	1										1	10,000
砺波市	2	3	6		2	30	2		2				
小矢部市	5	22	56		11	270	4		4				
南砺市	6	24	41		8	240	6		6				
射水市													
入善町													
朝日町													
舟橋村													
上市町													
立山町	1	2			1								
その他				2		114					1		
合計	28	76	135	4	32	834	19	1	21	0	1	6	60,000

※その他は劣化等により処分したもの。 小矢部市：3／26避難所開設（17人）配布分を含む。

(10) 臨時救護

地方公共団体、地区区分等の要請により救護員を派遣し、参集者の安全を図った。

なお、アルコール消毒・マスク等を整備し、コロナ感染予防対策をとった。

No.	期日	派遣行事名等	日数	救護 員数	取扱傷 病者数
	6／5	富山県放デイゆるゆる大運動会	※開催中止		
1	4／25	富山縣護國神社春季例大祭	1	2	0
2	5／16	とやま森の祭典	1	2	0
合 計			2	4	0

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

(11) 防災教育事業

地域のニーズに合わせて災害への備え、防災・減災に関する講習会を開催してきた。日本赤十字社防災教育事業指導者を養成し、大規模災害の危険性に対し、地域の「自助」「共助」の力を高めるため、地域コミュニティでの防災教育に力を入れている。また、新型コロナウイルス感染状況下において、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」等を活用し、新型コロナウイルス感染予防や差別防止の啓発に取り組んだ。

講習項目

災害への備え	防災や減災の考え方、地震・津波・風水害がもたらす様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。
災害エスノグラフィー	被災した人々の視点で書き留められた読み物から、災害を迫体験し、被災状況をイメージする。
災害図上訓練（DIG）	地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し個人や地域の防災意識を高める。
応急手当	身近なものを用いた応急手当、救急法、災害時高齢者健康生活支援等を学ぶ。

防災啓発プログラム実施状況

No.	期日	地区名	実施場所	対 象	受講数	講習項目
	8 / 28	高岡市	ふれあい福祉センター	地域住民	－	開催中止（※）
	8 / 30	富山市	八尾公民館	地域住民	－	開催中止（※）
	2 / 16	射水市	大島コミュニティーセンター	大島赤十字奉仕団員	－	開催中止（※）
1	4 / 25	射水市	いみず市民交流プラザ	地域住民	25	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
2	5 / 19	富山市	杉原公民館	地域住民	40	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
3	5 / 23	氷見市	いきいき元気館	朝日丘赤十字奉仕団員	26	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
4	6 / 24	富山市	蛭川公民館	蛭川赤十字奉仕団員	20	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
5	6 / 30	砺波市	坪北公民館	地域住民	18	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
6	8 / 10	高岡市	高岡龍谷高校	高岡地区高校保健委員・養護教諭	80	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
7	10 / 28	高岡市	高岡向陵高校	生徒・保護者・教職員	40	冬季の感染症対策について
8	11 / 8	富山市	富山赤十字病院	ケアマネジャー・介護職員	31	災害の備え
9	11 / 16	富山市	熊野小学校	児童・教職員	67	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
10	11 / 26	砺波市	市社会福祉会館	地域住民	25	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
11	12 / 4	立山町	利田公民館	児童・教職員・地域住民	43	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
12	12 / 13	富山市	富山いずみ高校	生徒・保護者・教職員	30	災害の備え
13	1 / 12	富山市	雄峰高校	生徒・教職員	25	災害の備え
合 計					470	

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

(12) 海 浜 救 護

県内5ヵ所の海水浴場の臨時海浜救護所へ応急手当用品を配付し、海水浴場利用者の安全を図った。

市 町 村	救護所名	開設日数	取扱傷病者数
富 山 市	八 重 津 浜	6	0
高 岡 市	松 太 枝 浜	44	4
氷 見 市	島 尾 浜	23	3
黒 部 市	石 田 浜	25	5
朝 日 町	宮 崎 浜	2	0
計		100	12

(13) 救護資材の貸し出し

支部が保有する炊き出し大鍋セットや AED（自動体外式除細動器）を県内各地で開催される自治会等主催の防災訓練や各種イベントに対して無料貸し出しを行った。

炊き出し大鍋セットは令和 2 年度 2 回 5 セットの貸し出し実績があった。また、AED は令和 3 年度中 6 回の貸し出しを予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響のため防災訓練等の各種イベントが中止となり、貸し出しは低調であった。

令和 3 年度の貸し出し実績

AED 5 回

(14) 災害義援金・救援金受付状況

(単位：円)

目 的	件 数	金 額	送 金 先
平成30年 7 月豪雨災害義援金	5件	45,386円	日本赤十字社
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金	15件	153,156円	日本赤十字社
令和 3 年 2 月福島県沖地震災害義援金	15件	311,185円	日本赤十字社
令和 3 年 島根県松江市大規模火災義援金	3件	39,748円	日本赤十字社
令和 3 年 7 月大雨災害義援金	46件	3,544,904円	日本赤十字社
令和 3 年 8 月大雨災害義援金	25件	1,964,182円	日本赤十字社
令和 3 年 台風第 9 号等大雨災害義援金	11件	252,130円	日本赤十字社
令和 3 年 長野県茅野市土石流災害義援金	12件	520,624円	日本赤十字社
令和 4 年 3 月福島県沖地震災害義援金	2件	40,000円	日本赤十字社
2021年ハイチ地震救援金	4件	29,801円	日本赤十字社
アフガニスタン人道危機救援金	7件	189,786円	日本赤十字社
トンガ大洋州噴火津波救援金	10件	114,631円	日本赤十字社
ウクライナ人道危機救援金	34件	1,452,320円	日本赤十字社
無指定海外救援金	1件	200,000円	日本赤十字社
青少年赤十字活動資金	1件	59,555円	日本赤十字社
令和 3 年度 N H K 海外たすけあい救援金	732件	6,895,801円	日本赤十字社
合 計	923件	15,813,209円	

※郵便振替を利用し、日赤本社や被災地支部に直接送金された件数・金額は含まない。

3 赤十字救急法等の講習

(1) 救 急 法

自らの健康安全と不慮の事故や災害で急病人やケガ人が出たとき、それ以上悪化させないように応急手当を施し、医師に引き渡すことができるように、知識と技術を学ぶもので、自然災害や交通事故等への対応を身につける必要性が重視されてきている。



例年、地区分区、企業その他の団体の要請に対し救急法指導員の資格を有するボランティア等を派遣し、それぞれの事業所等で講習を実施するほか、支部において一般対象の講習を開催している。

短期講習は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、ペットボトルを用いて接触を伴わない方法やリモートを活用した方法で実施した。また、一般向けの養成講習や一部の基礎講習は中止した。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
救急法救急員養成講習	急病の手当、けがの手当（止血法、包帯法、固定法）、運搬及び救護	12時間
救 急 法 基 礎 講 習	傷病者の観察の仕方及び一次救命処置（心肺蘇生、AEDを用いた除細動、気道異物除去）等救急法の基礎	4 時間
救 急 法 短 期 講 習	救急法基礎講習及び救急法救急員養成講習の内容の一部	必要とする時間

- (1) 救急法基礎講習の受講資格は、満15歳以上の者
- (2) 救急法救急員養成講習の受講資格は、救急法基礎講習修了者
- (3) 検定(学科・実技)合格者には救急法基礎講習は「修了証」を救急法救急員養成講習は「認定証」を交付する。

救急法講習実施状況

○短期講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
	6 / 12	高岡市	西五位公民館	福岡町赤十字奉仕団	開催延期 (※)
	6 / 20	富山市	県総合体育センター	プール管理者	開催中止 (※)
	8 / 20	富山市	水橋中学校	教職員	開催中止 (※)
	8 / 22	南砺市	上平交流センター	上平赤十字奉仕団	開催延期 (※)

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
	8 / 27	富山市	三成中学校	教職員	開催中止 (※)
1	4 / 21	富山市	富山大学附属中学校	教職員	43
2	5 / 10	高岡市	高岡向陵高校	生徒・教職員	20
3	5 / 17	富山市	中町ケアタウン	職員	4
4	5 / 18	富山市	中町ケアタウン	職員	6
5	5 / 19	富山市	中町ケアタウン	職員	7
6	5 / 20	富山市	中町ケアタウン	職員	6
7	5 / 21	高岡市	野村小学校	教職員	33
8	5 / 22	富山市	中町ケアタウン	職員	4
9	5 / 23	砺波市	砺波青少年自然の家	学生ボランティア	12
10	5 / 24	高岡市	高岡向陵高校	生徒・教職員	20
11	5 / 27	富山市	八幡小学校	教職員	12
12	5 / 31	富山市	豊田小学校	教職員・PTA	44
13	5 / 31	高岡市	能町小学校	教職員	29
14	6 / 1	富山市	速星小学校	教職員・PTA	40
15	6 / 1	富山市	アピアスポーツクラブ	職員	35
16	6 / 2	立山町	林業カレッジ	林業従事者	19
17	6 / 2	富山市	速星公民館	プール管理者	65
18	6 / 3	富山市	県総合教育センター	新採養護教諭	5
19	6 / 3	高岡市	横田小学校	教職員	10
20	6 / 3	富山市	アピアスポーツクラブ	職員	39
21	6 / 6	富山市	アピアスポーツクラブ	職員	14
22	6 / 7	高岡市	木津小学校	教職員	20
23	6 / 7	高岡市	牧野小学校	教職員	37
24	6 / 7	富山市	安全衛生教育センター	衛生管理受講者	89
25	6 / 8	富山市	速星公民館	養護教諭	58
26	6 / 9	富山市	藤ノ木小学校	教職員	38
27	6 / 9	富山市	広田小学校	教職員	18
28	6 / 10	富山市	速星公民館	養護教諭	52
29	6 / 14	富山市	古沢小学校	教職員	16
30	6 / 14	富山市	太田小学校	教職員	15
31	6 / 15	富山市	光陽小学校	教職員	34
32	6 / 15	富山市	長岡小学校	教職員	10
33	6 / 15	富山市	水橋中部小学校	教職員	15
34	6 / 16	富山市	芝園小学校	教職員・PTA	65
35	6 / 17	富山市	新庄北小学校	教職員	25
36	6 / 17	富山市	大庄小学校	教職員	17
37	6 / 18	富山市	寒江小学校	教職員・PTA	28
38	6 / 19	富山市	檜尾小学校	教職員・PTA・児童	40
39	6 / 20	富山市	老田小学校	教職員	17
40	6 / 21	富山市	岩瀬小学校	教職員	12
41	6 / 21	富山市	呉羽小学校	教職員	30
42	6 / 22	富山市	ウィンディ	職員	43
43	6 / 22	富山市	宮野小学校	教職員	16
44	6 / 23	富山市	萩浦小学校	教職員	17
45	6 / 23	富山市	浜黒崎小学校	教職員	12

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
46	6 / 24	富山市	山室中部小学校	教職員	26
47	6 / 24	射水市	新湊高校	教職員	17
48	6 / 25	射水市	新湊高校	教職員	13
49	6 / 25	富山市	東富山温水プール	職員	18
50	6 / 25	富山市	草島小学校	教職員	11
51	6 / 25	富山市	柳町小学校	教職員	22
52	6 / 28	富山市	針原小学校	教職員	20
53	6 / 28	富山市	昭和電工セラミックス	職員	19
54	6 / 29	富山市	上条小学校	教職員	12
55	6 / 30	富山市	新庄小学校	教職員	29
56	7 / 1	富山市	中央小学校	教職員	17
57	7 / 3	上市町	上市町文化研修センター	PTA	48
58	7 / 5	富山市	奥田小学校	教職員	22
59	7 / 6	富山市	Toyama Sakura ビル	プールバイト	8
60	7 / 19	富山市	富山高校	教職員	26
61	7 / 20	富山市	富山学園	教職員	12
62	7 / 21	富山市	興南中学校	教職員	20
63	7 / 26	富山市	高志支援学校	教職員	36
64	7 / 26	富山市	しらとり支援学校	教職員	146
65	7 / 28	富山市	呉羽中学校	教職員	30
66	7 / 29	富山市	堀川中学校	教職員	36
67	7 / 29	富山市	ファニチャーパーク K 3	職員	39
68	7 / 30	富山市	新庄中学校	教職員	30
69	8 / 1	魚津市	経田小学校	町内会	120
70	8 / 4	魚津市	魚津漁業協同組合	技能実習生	45
71	8 / 7	富山市	ウィンディ	プールバイト	5
72	8 / 10	富山市	和合中学校	教職員	20
73	8 / 14	富山市	県総合体育センター	協会員	28
74	8 / 27	富山市	西部中学校	教職員	24
75	9 / 15	射水市	いみず市民交流プラザ	PTA	42
76	10 / 8	富山市	富士薬品	職員	11
77	10 / 19	富山市	マリエ献血ルーム	職員	7
78	10 / 19	富山市	富士薬品	職員	7
79	10 / 19	富山市	赤十字血液センター	職員	17
80	10 / 21	富山市	マリエ献血ルーム	職員	7
81	10 / 21	富山市	赤十字血液センター	職員	20
82	10 / 21	富山市	八尾コミュニティーセンター	PTA	51
83	10 / 22	小矢部市	蟹谷中学校	PTA	23
84	10 / 24	富山市	県総合福祉会館	県児童クラブ指導員	15
85	10 / 24	南砺市	上平交流センター	上平赤十字奉仕団	9
86	10 / 26	小矢部市	くりからの里	職員	28
87	10 / 26	高岡市	高岡工芸高校	生徒	65
88	10 / 27	高岡市	高岡工芸高校	生徒	85
89	10 / 28	高岡市	高岡工芸高校	生徒	76
90	11 / 4	高岡市	高岡工芸高校	生徒	44
91	11 / 8	富山市	赤十字血液センター	中学生	4

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
92	11／14	砺波市	砺波青少年自然の家	スキーパトロール隊員	8
93	11／19	富山市	三寿苑	職員	13
94	11／19	富山市	東部小学校	PTA・児童	46
95	1／19	富山市	奥田中学校	職員	10
96	1／20	富山市	サクラパックス	職員	12
97	2／14	氷見市	久目地区交流館	森林組合員	11
98	2／17	富山市	柳町小学校	児童	20
99	2／24	富山市	三成中学校	生徒	44
100	3／7	富山市	富士薬品	職員	25
101	3／8	富山市	東京海上日動火災保険富山支店	職員	15
102	3／25	富山市	エニタイムフィットネス富山経堂店	職員	3
合 計					2,808

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催または派遣中止、開催延期

○救急員養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
	5／4～5		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	8／19～20		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	9／4～5		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	12／11～12		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	2／9～10		富山市	県総合体育センター	一般	開催中止（※）
	3／20～21		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
1	5／8～9	2	富山市	日赤富山県支部	職員	4
2	11／27～28	2	富山市	日赤富山県支部	職員	7
3	12／11～12	2	富山市	日赤富山県支部	職員	5
合 計		6				16

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

○基礎講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
	6／29		富山市	富山県消防学校	消防初任科生	開催中止（※）
	8／18		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	9／3		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
1	4／29	1	富山市	日赤富山県支部	一般	12
2	6／5	1	富山市	日赤富山県支部	一般	7
3	7／10	1	富山市	日赤富山県支部	一般	7
4	9／3	1	富山市	日赤富山県支部	職員	4
5	11／13	1	富山市	日赤富山県支部	一般	13
6	12／4	1	富山市	日赤富山県支部	一般	12
7	1／8	1	富山市	日赤富山県支部	一般	10
8	2／7	1	富山市	県総合体育センター	一般	13
9	3／4	1	富山市	県生協富山センター	一般	9
10	3／19	1	富山市	日赤富山県支部	一般	12
合 計		10				99

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

(2) 水上安全法

水の事故といえば、すぐにプールや海水浴を思い浮かべるが、水による事故のほとんどは水泳中以外に発生している。水上安全法の目的は、尊い命を水の事故から守



るために、主として事故防止と自己保全、そして溺れた人を安全に救助する方法を習得することにある。

令和3年度についても新型コロナウイルス感染症の影響により、救助員Ⅰ養成講習の開催を中止し、人数を制限するなど感染対策を徹底して着衣泳の短期講習を実施した。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
水上安全法救助員Ⅰ養成講習	水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	14時間
水上安全法救助員Ⅱ養成講習	海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	12時間
水 上 安 全 法 短 期 講 習	水上安全法救助員Ⅰ及び水上安全法救助員Ⅱの内容の一部	必要とする時間

- (1) 水上安全法救助員Ⅰ養成講習の受講資格は、満15歳以上の救急法基礎講習修了者で、一定の泳力を有すること。
- (2) 水上安全法救助員Ⅱ養成講習の受講資格は、水上安全法救助員Ⅰの資格を有すること。
- (3) 検定（学科・実技）合格者には水上安全法救助員Ⅰ、Ⅱの「認定証」を交付する。

水上安全法講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	7 / 6	富山市	桜谷小学校	児童	217
2	7 / 8 ~ 9	富山市	県総合体育センター	消防初任科生	33
3	7 / 16	富山市	神明小学校	児童	27
4	7 / 19	富山市	朝日小学校	児童	68
5	7 / 22	射水市	新湊小学校	児童	134
6	8 / 2	富山市	檜尾小学校	児童	28
7	8 / 8	富山市	市民プール	職員	25
8	1 / 26	南砺市	エイム ア・ミュー	職員	6
9	2 / 27	富山市	市民プール	職員	24
合 計					562

○救助員Ⅰ養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
	6/30~7/2		富山市	県総合体育センター	消防初任科生	開催中止（※）
	1/18~20		富山市	市民プール	一般	開催中止（※）

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

(3) 健康生活支援講習

誰もが高齢期を健やかに過ごせるよう、必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向けて、役立つ介護支援技術を習得することを目的に実施した。

「災害時高齢者生活支援講習」や「地域で支える認知症講習」を短期講習として開催し、1人でも多くの人が高齢者や認知症の人、その家族の支援者となり、安心して暮らせる地域づくりにつながることを期待している。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、接触を伴う支援員養成講習会の開催は中止し、感染防止を徹底し接触を伴わない短期講習を中心に行った。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
健 康 生 活 支 援 講 習 支 援 員 養 成 講 習	1 高齢者の健康と安全のために 2 地域における高齢者支援に役立つ知識と技術 3 日常生活の具体的な介護の知識と技術	12時間
災害時高齢者生活支援講習 (短期講習)	1 災害について 2 災害が高齢者に及ぼす影響 3 接するときのこころづかい 4 気をつけたい病気や症状 5 知って役立つ技術 6 ボランティアの心得	2 時間
地 域 で 支 え る 認 知 症 (短期講習)	1 認知症とは 2 認知症の主な症状 3 認知症の人への対応 4 予防と早期発見 5 家族の理解と支援 6 地域で支えるために	1.5時間
健康生活支援講習短期講習	支援員養成科目から一部抽出	必要とする時間

- (1) 健康生活支援講習支援員養成講習の受講資格は、満15歳以上の者
- (2) 学科検定合格者には「認定証」を交付する。

健康生活支援講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
1	6 / 9	富山市	のづみ異世代交流館	職員	20
2	6 / 24	射水市	片口小学校	児童・教職員	28
3	7 / 20	上市町	働く婦人の家	上市町赤十字奉仕団	15
4	7 / 26	高岡市	伏木高校	生徒	14
5	10 / 2	富山市	健保連富山会館	組合員	38
6	10 / 12	高岡市	県生協西部センター	活動会員	7
7	11 / 2	滑川市	県生協東部センター	活動会員	6
8	2 / 25	富山市	四方公民館	四方赤十字奉仕団	11
合 計					139

○災害時高齢者生活支援講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
	9 / 17	高岡市	横田公民館	地域住民	開催中止 (※)
1	4 / 17	入善町	うるおい館	入善町赤十字奉仕団	40
2	6 / 16	朝日町	サンリーナ	朝日町赤十字奉仕団	35
3	6 / 22	富山市	富山いずみ高校	生徒	39
4	6 / 25	富山市	富山いずみ高校	生徒	38
5	7 / 7	富山市	新庄北公民館	地域住民	26
6	7 / 20	魚津市	農村環境改善センター	魚津市赤十字奉仕団	24
7	7 / 30	高岡市	下関公民館	地域住民	20
8	11 / 16	黒部市	愛本公民館	地域住民	15
合 計					237

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

○「地域で支える認知症」講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
	2 / 22	入善町	うるおい館	地域住民	開催中止 (※)

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

○支援員養成講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
	7 / 17～18	富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止 (※)
	12 / 18～19	富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止 (※)
	1 / 29～30	富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止 (※)

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

(4) 幼児安全法

子どもが家庭や地域で安全に健やかに育っていくように、子どもに起こりやすい事故の防止と手当の方法、家庭内での看病の方法や災害時の乳幼児支援など、地域生活の中で役立つ知識や技術を学ぶものであり、次のとおり実施した。

少子化の下で本講習を契機に社会全体で子どもを育てていくという機運を高めるため、更なる普及に努める。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、接触を伴う支援員養成講習会の開催は中止し、感染防止を徹底し接触を伴わない短期講習を中心に行った。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
幼 児 安 全 法 支 援 員 養 成 講 習	1 赤十字幼児安全法について 2 子どもの成長発達と事故予防 3 子どもの応急手当 4 子どもの病気と看病の仕方 5 地域の子育て支援 ～社会全体で子どもを大切に育てるために～	12時間
幼 児 安 全 法 短 期 講 習	支援員養成講習の科目から一部抽出	必要とする時間

- (1) 幼児安全法支援員養成講習の受講資格は、満15歳以上の者
(2) 検定（学科・実技）合格者には「認定証」を交付する。

幼児安全法講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
	8/18	富山市	新庄保育所	親子サークル会員	開催中止（※）
	8/31	富山市	豊田公民館	子育て支援センター会員	開催中止（※）
	9/28	富山市	四方公民館	子育て支援センター会員	開催中止（※）
	10/4	富山市	熊野公民館	子育て支援センター会員	開催中止（※）
	2/21	富山市	八尾健康福祉総合センター	子育て支援センター会員	開催中止（※）
1	5/14	氷見市	余川谷農業研修館	子育てサークル親子・スタッフ	10
2	5/20	富山市	県総合体育センター	新採幼教諭・保育士	46
3	5/21	立山町	釜ヶ淵公民館	地区住民	6
4	5/24	富山市	呉羽公民館	子育て支援センター会員	6
5	5/26	富山市	子育て支援センター	ファミリーサポートセンター会員	20
6	6/15	氷見市	旧若葉保育園	子育てサークル親子・スタッフ	6
7	6/21	富山市	速星公民館	子育て支援センター会員	5
8	6/23	立山町	下段公民館	子育てサロン会員・スタッフ	10
9	6/27	南砺市	福光児童館	ファミリーサポートセンター会員	20
10	6/29	富山市	水橋児童館	子育てサークル親子・スタッフ	10

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
11	7 / 1	富山市	大久保ふれあいセンター	子育て支援センター会員	5
12	7 / 3	富山市	西田地方保育園	職員	31
13	7 / 8	砺波市	出町児童センター	児童厚生員・職員	10
14	7 / 9	氷見市	善照寺	子育てサークル親子・スタッフ	15
15	7 / 10	富山市	にながわ保育園	職員	32
16	7 / 11	富山市	にながわ保育園	職員	16
17	7 / 14	富山市	奥田公民館	保育補助スタッフ	11
18	7 / 15	射水市	いみず市民交流プラザ	ファミリーサポートセンター会員	15
19	7 / 21	射水市	いみず市民交流プラザ	ファミリーサポートセンター会員	14
20	8 / 4	富山市	八尾健康福祉総合センター	子育て支援センター親子・スタッフ	8
21	8 / 5	滑川市	交流プラザ	保育補助スタッフ	12
22	9 / 22	富山市	サンフォルテ	里親	9
23	9 / 30	富山市	くまのこども園	子育てサークル親子・スタッフ	8
24	10 / 19	舟橋村	子育て支援センター	子育て支援センター会員	10
25	10 / 20	富山市	恵光学園	職員・保護者	28
26	10 / 22	立山町	立山町保険センター	子育て支援参加親子・職員	13
27	10 / 31	富山市	婦中町ふれあい会館	子育て支援センター会員	6
28	11 / 9	富山市	青い鳥保育園	職員	20
29	11 / 11	富山市	針原公民館	子育て支援センター会員	8
30	11 / 18	富山市	子育て支援センター	乳幼児とその親子	15
31	11 / 20	富山市	柳町公民館	子育て支援センター会員	7
32	11 / 22	氷見市	余川農業研修館	子育てサークル親子・スタッフ	7
33	11 / 25	魚津市	つばめ児童センター	ファミリーサポートセンター会員	17
34	11 / 30	富山市	藤ノ木公民館	子育て支援センター会員	5
35	12 / 2	高岡市	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所	学生	25
36	12 / 11	富山市	桜谷保育園	職員	40
37	1 / 13	高岡市	こどものその	保護者	10
38	3 / 8	富山市	県立乳児院	職員	6
39	3 / 9	富山市	県立乳児院	職員	6
40	3 / 23	富山市	富山赤十字病院	親子	10
41	3 / 24	富山市	県立乳児院	職員	6
42	3 / 30	富山市	県立乳児院	職員	6
合 計					570

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

○支援員養成講習

No.	期 日	講習日数	市町村	実 施 場 所	対 象	受講者数
	6 / 26～27	2	富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	9 / 10～11	2	富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	2 / 28～29	2	富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
1	6 / 19～20	2	富山市	日赤富山県支部	職員	6

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

○指導員養成講習

No.	期 日	講習日数	市町村	実 施 場 所	対 象	受講者数
	11 / 6、17、24 12 / 1、8	5	富山市	日赤富山県支部	支援員（職員）	7

市町村別講習一覧

市町村	養成講習				基礎講習	短期講習						
	救 急 法 救 急 員	水上安全 法救助員	健康生活 支 援 員	幼児安全 法支援員	救 急 法	救 急 法	水 上 安 全 法	健康生活 支 援	災 害 時 高齢者支援	地域で支える 認 知 症	幼 児 安 全 法	
富 山 市					2	78	7	3	3		26	
高 岡 市						11		2	1		2	
射 水 市						3	1	1			2	
魚 津 市						2			1		1	
氷 見 市						1					4	
滑 川 市								1			1	
黒 部 市									1			
砺 波 市						2					1	
小矢部市						2						
南 砺 市						1	1				1	
朝 日 町									1			
入 善 町									1			
舟 橋 村											1	
上 市 町						1		1				
立 山 町						1					3	
小 計	0	0	0	0	2	102	9	8	8	0	42	
そ の 他												
県 支 部	3			1	8							
合 計	3	0	0	1	10	102	9	8	8	0	42	

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

奉仕団には、一定の地域ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、18～30歳の社会人や学生によって組織された「青年赤十字奉仕団」、災害救援・点訳など特殊な技能を持った人達で組織された「特殊赤十字奉仕団」がある。

富山県支部においては、地域奉仕団が県内15市町村で53団のほか、青年奉仕団1団と、特殊奉仕団（点訳、災害救援、病院、芸能、ともしび、無線、青少年赤十字賛助）7団が結成されており、約3,500人の団員が幅広いボランティア活動を行った。

(1) 赤十字奉仕団結成状況

ア 地域奉仕団

No.	奉仕団名	市町村	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	柳町赤十字奉仕団	富山市	S47.8.29	休 団	－	－	－	－	0
2	蜷川赤十字奉仕団		S47.11.2	杉山 由美	10	0	1	104	105
3	清水町赤十字奉仕団		S50.6.24	田村 義秋	0	0	13	37	50
4	愛五赤十字奉仕団		S53.3.7	平岡 香代	0	2	0	26	26
5	白菊赤十字奉仕団		S53.4.22	中村ひとみ	0	0	0	33	33
6	四方赤十字奉仕団		S54.2.15	任海 哲朗	0	0	5	97	102
7	新庄赤十字奉仕団		S55.5.30	黒畑 喜昭	0	8	19	55	74
8	安野屋赤十字奉仕団		S61.5.1	長谷 芳子	0	0	0	18	18
9	山室赤十字奉仕団		S62.6.20	大野 幸恵	0	0	4	94	98
10	堀川南赤十字奉仕団		H4.6.29	休 団	－	－	－	－	0
11	新庄北赤十字奉仕団		H26.4.2	土肥 靖子	0	8	12	62	74
12	大沢野赤十字奉仕団	富山市大沢野	S52.4.10	堀井 禮子	0	0	0	26	26
13	大山赤十字奉仕団	富山市大山	S57.12.9	吉田 悦子	0	4	0	43	43
14	八尾町赤十字奉仕団	富山市八尾	S53.4.21	岡崎 智子	9	0	0	147	147
15	婦中赤十字奉仕団	富山市婦中	S54.9.26	渡邊 睦子	8	0	0	53	53
16	細入赤十字奉仕団	富山市細入	S58.3.30	田口 悦子	0	0	0	28	28
17	山田赤十字奉仕団	富山市山田	S57.8.6	今井 節子	0	0	0	24	24
18	高岡南部丸美赤十字奉仕団	高岡市	S42.7.10	伏江美保子	4	0	6	56	62
19	吉久睦赤十字奉仕団		S49.7.8	野村 絹子	0	0	3	19	22
20	伏木赤十字奉仕団		S51.9.28	石須 大雄	6	0	25	99	124
21	中田赤十字奉仕団		S52.9.2	浅井ユキエ	0	0	2	42	44

No.	奉仕団名	市町村	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
22	高岡中央赤十字奉仕団	高岡市	S 53. 10. 20	田辺 恵子	0	0	1	98	99
23	福岡町赤十字奉仕団		S 58. 7. 3	吉國 姫子	0	0	2	38	40
24	立野赤十字奉仕団		H 7. 2. 7	源 喜美子	0	0	0	34	34
25	魚津市赤十字奉仕団	魚津市	S 54. 12. 7	川西かず江	0	4	0	86	86
26	朝日丘赤十字奉仕団	氷見市	S 52. 8. 9	金森 辰美	0	0	7	41	48
27	東赤十字奉仕団		S 52. 11. 5	休 団	－	－	－	－	0
28	十二町赤十字奉仕団		H 15. 10. 5	森越美智子	0	0	0	21	21
29	窪赤十字奉仕団		H 16. 10. 2	森 節子	0	0	0	23	23
30	滑川市赤十字奉仕団	滑川市	S 57. 5. 1	石原 雅雄	0	0	3	69	72
31	宇奈月赤十字奉仕団	黒部市	S 47. 3. 10	清水 晴乃	0	0	0	10	10
32	黒部市石田赤十字奉仕団		S 57. 7. 20	出戸端淑子	0	0	0	39	39
33	砺波市赤十字奉仕団	砺波市	S 57. 3. 24	山田 順子	0	6	5	235	240
34	庄川町赤十字奉仕団		S 58. 11. 13	中村ひとみ	0	0	50	155	205
35	小矢部市赤十字奉仕団	小矢部市	S 59. 2. 15	中西 順子	0	0	0	50	50
36	南砺市福野赤十字奉仕団	南砺市	S 52. 10. 26	長井久美子	0	0	0	43	43
37	南砺市福光赤十字奉仕団		S 53. 6. 14	堀 光子	0	0	0	48	48
38	南砺市井波赤十字奉仕団		S 55. 6. 6	岩城美智恵	0	0	11	85	96
39	南砺市城端赤十字奉仕団		S 60. 2. 27	大宅 京子	0	0	4	52	56
40	南砺市井口赤十字奉仕団		H 1. 3. 12	吉田 玲子	0	0	1	33	34
41	南砺市平赤十字奉仕団		H 1. 12. 17	谷場美智子	0	0	0	25	25
42	南砺市上平赤十字奉仕団		H 2. 10. 14	北田 祥子	0	0	3	24	27
43	南砺市利賀赤十字奉仕団		H 3. 4. 18	岩腰 悦子	0	0	0	19	19
44	下村赤十字奉仕団	射水市	S 46. 12. 8	竹苗 典子	0	0	0	13	13
45	射水市大江赤十字奉仕団		S 53. 7. 6	岩脇 明美	0	5	0	119	119
46	大門町赤十字奉仕団		S 56. 9. 24	休 団	－	－	－	－	0
47	射水市大島赤十字奉仕団		S 56. 12. 21	小川 和子	0	0	0	53	53
48	新湊中央赤十字奉仕団		H 9. 2. 19	米島 敏子	0	6	1	78	79
49	入善町赤十字奉仕団	入善町	S 51. 3. 27	大角 秋代	10	0	2	135	137
50	朝日町赤十字奉仕団	朝日町	S 51. 4. 18	井口 一美	10	0	0	165	165
51	舟橋村赤十字奉仕団	舟橋村	S 58. 6. 10	古川寿加子	0	0	0	45	45
52	上市町赤十字奉仕団	上市町	S 56. 11. 30	深川 紀子	0	0	0	33	33
53	立山町赤十字奉仕団	立山町	S 57. 5. 19	釈永 静子	12	0	34	197	231
合 計							214	3,129	3,343

イ 青年奉仕団

No.	奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	富山県青年赤十字奉仕団	S 61. 3. 15	古澤 佳奈	0	0	1	15	16
合 計						1	15	16

ウ 特殊奉仕団

No.	奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	富山赤十字点訳奉仕団	S 35. 6. 19	植野 直美	0	0	1	23	24
2	富山赤十字災害救援奉仕団	S 50. 12. 22	休 団	—	—	—	—	0
3	富山赤十字病院奉仕団	S 53. 7. 16	岡本由美子	0	0	0	3	3
4	富山赤十字芸能奉仕団	S 55. 8. 5	飯野エミ子	0	0	0	13	13
5	ともしび赤十字奉仕団	S 60. 3. 30	氷見 治代	0	0	0	51	51
6	富山県無線赤十字奉仕団	H 13. 10. 15	山口 康司	0	0	20	0	20
7	富山県青少年赤十字賛助奉仕団	H 14. 1. 16	小林 福治	0	0	21	6	27
合 計						42	96	138

(2) 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会役員（令和3年4月～令和5年3月）

名誉委員長 山下 和夫（伏木赤十字奉仕団名誉委員長）

委員長 岡崎 智子（地域奉仕団・富山地区選出）（八尾町赤十字奉仕団委員長）

副委員長 吉國 姫子（地域奉仕団・高岡地区選出）（福岡町赤十字奉仕団委員長）

〳 深川 紀子（地域奉仕団・新川地区選出）（上市町赤十字奉仕団委員長）

〳 山田 順子（地域奉仕団・砺波地区選出）（砺波市赤十字奉仕団委員長）

〳 山口 康司（特殊奉仕団選出）（富山県無線赤十字奉仕団委員長）

常任委員 中村ひとみ（地域奉仕団・富山地区選出）（白菊赤十字奉仕団委員長）

〳 竹苗 典子（地域奉仕団・高岡地区選出）（下村赤十字奉仕団委員長）

〳 大角 秋代（地域奉仕団・新川地区選出）（入善町赤十字奉仕団委員長）

〳 中西 順子（地域奉仕団・砺波地区選出）（小矢部市赤十字奉仕団委員長）

(3) 主な奉仕団関係行事

実施日	事業名	摘要
3月～6月	各赤十字奉仕団総会	全体集合、文書審議等で実施 9団に職員出席
4/20	赤十字奉仕団富山県支部委員会	呉羽ハイツ 48名出席
5月	全国赤十字大会	中止
5月から	赤十字運動月間キャンペーンPR活動 (6月以降) 赤十字広報PR活動	13市町村35/49奉仕団 各地区ショッピングセンター等で実施 ティッシュ・チラシ11,455部を配布
5月から	在宅ひとり暮らし高齢者訪問活動	15市町村49/49奉仕団 各地区で実施 ティッシュペーパー 高齢者7,740人を訪問
5/28	赤十字奉仕団中央委員会	WEB 岡崎委員長出席
6/1	富山県水防協議会	文書審議 岡崎委員長回答
6/1～2	赤十字月間社資DM発送作業奉仕	日赤支部 白菊奉、新庄北奉 延べ32名協力
6/6	日本赤十字社富山県支部評議員会	ANA クラウンプラザホテル 岡崎委員長・土肥委員(富山市選出) 田辺委員(高岡市選出) 竹苗委員(射水市選出)
6/10	赤十字奉仕団担当者研修会	WEB 塚本係長出席
6/11	支部施設合同災害救護訓練	日赤支部 (職員のみで実施)
6/13	赤十字奉仕団研修部会・常任委員会	日赤支部 17名出席
6/19	日本赤十字社第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者及び担当者会議	WEB(岐阜県当番) 青年奉・古澤委員、塚本係長出席
7/2	赤十字奉仕団研修会 (高岡・砺波地区対象)	高岡市ふれあい福祉センター 54名出席
7/15	赤十字奉仕団研修会 (富山・新川地区、特殊対象)	サンシップとやま 62名出席
7/17	青少年赤十字全国指導者協議会総会	WEB 賛助奉・小林委員出席
7/28	献血運動推進富山県大会(表彰式のみ)	富山県庁
8月	青少年赤十字トレーニングセンター	中止
8/1	富山県総合防災訓練	滑川市、魚津市、上市町、舟橋村 開催市町村の地域奉、無線奉参加
9/15	「災害時に逃げ遅れてしまうこころの働き」(漫画) 配布	10市町村18/49奉仕団 各奉仕団で活用 936部印刷
9/17	オンライン(zoom)を使った情報交換体験会	日赤支部 5名参加
9/28～29	防災教育事業本社指導者養成研修	WEB 新庄奉・黒畑委員参加
10/7	第33回富山県民ボランティア・NPO大会	サンシップとやま ボランティア活動推進富山県民会議会長 表彰 朝日丘奉・金森委員、福野奉・長井委員、立野奉、新湊中央奉
10/14	日本赤十字社第3ブロック赤十字奉仕団委員長及び担当者会議	WEB(愛知県当番) 岡崎委員長、塚本係長出席

実施日	事業名	摘要
10/21	赤十字奉仕団常任委員会	日赤支部 8名出席
10/28～29	赤十字ボランティア・リーダー研修会	WEB 小矢部奉・中西委員参加
11/10	赤十字奉仕団委員長会議	呉羽ハイツ 47名出席
11/30	赤十字奉仕団研修部会役員会	日赤支部 3名出席
12/1～25	NHK海外たすけあい	15市町村40/54団協力 県内実績 732件6,895,801円
12/7	赤十字奉仕団とやま37号編集委員会	日赤支部 6名出席
1月	富山県献血推進協議会	文書審議 岡崎委員長回答
2月	日本赤十字社富山県支部評議員会	文書審議 岡崎委員長・土肥委員（富山市選出） 田辺委員（高岡市選出） 竹苗委員（射水市選出）
2/5	防災ボランティア・リーダー養成研修	WEB 無線奉・山口委員参加
3/1	赤十字奉仕団常任委員会	日赤支部 9名出席
3/1	赤十字奉仕団とやま37号編集委員会	日赤支部 6名出席

－活動推進奉仕団指定（支部指定）－

南砺市井口赤十字奉仕団

テーマ 災害救護

タイトル 「生涯学習フェスタで牛乳パックを使った一人用非常食作り体験」

小矢部市赤十字奉仕団

テーマ 災害救護

タイトル 「サマーボランティアスクールの中高生との炊き出しと

一人用非常食セット作り」

－奉仕団とやま37号（令和3年度号）編集委員－

岡崎（八尾町）、吉國（福岡町）、大角（入善町）、中西（小矢部市）、杉山（蜷川）、
渡邊（婦中）、小川（大島）、谷場（平）

(4) 奉仕団活動内容

ア 地域奉仕団

- 青少年赤十字との連携活動 ○ 街頭献血の呼びかけ
- 施設訪問（除草・花苗植え） ○ 炊き出し訓練
- 赤十字社資募集 ○ 国内外災害等の義・救援金の募集
- 救護（イベント等） ○ 救急法・健康生活支援講習等安全講習の受講
- 在宅ひとり暮らし高齢者訪問 ○ 交通安全指導
- 交通安全マスコット人形作り ○ 病院案内等ボランティア
- NHK海外たすけあい募集

イ 青年奉仕団

- 街頭献血の呼びかけ ○ 社会福祉施設訪問 ○ 子ども食堂の運営補助

ウ 特殊奉仕団

◎ 富山赤十字点訳奉仕団

- 視覚障害者の福祉に理解と熱意を有する団員が、わずかな余暇をさいて1冊でも多くの本を点訳しようと努力している。
- 令和3年度はパソコンによる点訳図書データ26タイトルを作成、富山視覚支援総合学校へ贈呈した。
- 日赤県支部において点訳個人指導および点字校正を実施した。

◎ 富山赤十字芸能奉仕団

三味線、唄、踊りなどの芸能をもって県内の社会福祉施設を訪問するため、練習を重ねた。

◎ 富山赤十字病院奉仕団

週2回病院の1室において、ガーゼたたみ、綿球作り、手術材料作り等の奉仕作業を行った。

◎ ともしび赤十字奉仕団

富山赤十字病院受付にて総合案内や来院者の検温、新型コロナウイルスワクチン接種補助、イベント等への臨時救護奉仕、研修等を積極的に行った。

◎ 富山県無線赤十字奉仕団

富山県総合防災訓練をはじめとし、災害に備え他県のアマチュア無線家と通信訓練を行うため研修を行った。

◎ 富山県赤十字青少年赤十字賛助奉仕団

県内小・中・高校等を訪問し、青少年赤十字の加盟普及・活動促進を行った。

(5) 赤十字奉仕団活動に基づく表彰

● 金色有功章（継続20年）

【奉仕団】

富山県無線赤十字奉仕団

富山県青少年赤十字賛助奉仕団

● 銀色有功章（継続15年）

【奉仕団委員長】

長谷 芳子（安野屋赤十字奉仕団）

土肥 靖子（新庄北赤十字奉仕団）

● 金柶感謝状（継続10年）

【奉仕団委員長】

岡崎 智子（八尾町赤十字奉仕団）

中村ひとみ（白菊赤十字奉仕団）

吉田 悦子（大山赤十字奉仕団）

● 銀柶感謝状（継続5年）

【奉仕団委員長】

伏江美保子（高岡南部丸美赤十字奉仕団）

飯野エミ子（富山赤十字芸能奉仕団）



5 青少年赤十字（JuniorRedCross）

青少年赤十字（JRC）は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解するとともに、進んで赤十字運動に参加し、一人ひとりが世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、青少年自身が日常生活の中で、望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校に組織され活動している。

この目的を達成するため、次の三つの実践目標と態度目標のもと、人間性豊かな児童生徒を育てる教育活動の一つとして取り組んでいる。

実践目標

① 健康・安全

命と健康の大切さを学び、人間尊重の精神を養うことを目指す。

② 奉仕

人間として、集団生活（社会）の中の一人としての社会的な責任を自覚し、人のために奉仕する心と実行力を養う。

③ 国際理解・親善

広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

態度目標 「気づき、考え、実行する」

自らの生活または社会の問題やニーズに「気づき」、その原因と解決のための道筋や方法を「考え」、問題解決のために具体的な活動を「実行する」ことの大切さを意識づけることを目指している。

本年度は247校の加盟校、55,612人のメンバーを有し、熱心な先生方の指導のもとに一層の充実発展に努めた。



(1) 青少年赤十字加盟状況

校 種	校 数	メンバー数	備 考
幼稚園・保育園	14	1,312	令和3年度新規加盟校（再加盟を含む） 富山市立浜黒崎小学校 富山市立朝日小学校 富山市立樫尾小学校 富山市立中央小学校 富山県立高岡工芸高等学校 富山県立南砺福野高等学校
小 学 校	137	27,119	
中 学 校	73	24,539	
義務教育学校	3	409	
高 等 学 校	15	2,012	
特別支援学校	5	221	
計	247	55,612	

市町村別加盟校数

市町村	小学校	中学校	義務教育 学 校	高等学校	幼稚園 保育園	特別支援 学 校	計
富 山 市	58	27		4	3	3	95
高 岡 市	24	11	1	7	10	1	54
魚 津 市		2					2
氷 見 市	9	4	1	1			15
滑 川 市	3	2					5
黒 部 市	3	2					5
砺 波 市	5	4				1	10
小 矢 部 市	1	4					5
南 砺 市	1	5	1	1			8
射 水 市	15	6			1		22
入 善 町	3	2		1			6
朝 日 町	2	1					3
舟 橋 村	1	1					2
上 市 町	6	1		1			8
立 山 町	6	1					7
合 計	137	73	3	15	14	5	247

加盟校名簿

令和4年3月31日現在

[illegible]

(2) 富山県青少年赤十字指導者協議会役員

会 長 稲田 壮一（射水市立射北中学校校長）

副 会 長 三津島 淳（県立氷見高等学校校長）

〃 小川 直子（射水市立片口小学校校長）

(3) 講習会等の開催

ア 指導者のために行ったもの

メンバーの活動が自主的、かつ、活発に行われるためには、指導者の赤十字に対する深い理解と認識にもとづく適切な指導が必要である。

そこで支部では、青少年赤十字に関する研究会や講習会への参加をすすめ、指導者の育成に努めている。

1) 本社主催

月 日	行事名	開催地	備 考
6 / 5	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	Web 開催	中井 幸（熊野小） 磯部 光志（東明小） 出村 秀司（山室中）
6 / 29	青少年赤十字全国指導者協議会	Web 開催	会長 稲田 壮一
9 / 30	指導主事対象青少年赤十字研究会	Web 開催	安養 貢 （西部教育事務所主任指導主事）

2) ブロック主催

・第3ブロック指導者協議会

6月11日、三重県主催により Web 形式で開催し、稲田会長、支部職員が参加し、情報交換並びに青少年赤十字活動普及方策について協議した。

3) 支部主催

・富山県青少年赤十字指導者協議会理事会・総会

5月26日、富山県支部を会場に開催し、活動実践校の指定やトレセン参集開催の中止などすべての議案は承認された。（出席理事等23人、ほか委任状）

・青少年赤十字活動研究会

1月21日、参集開催から急遽 Web 開催に変更する中、県下小、中、高等学校から37名の指導者が参加し、学校教育における青少年赤十字の普及について研究した。

講 演 「オミクロンが登場しても感染対策の基本は同じです」

講 師 下間 正隆（日本赤十字豊田看護大学 教授）

実践発表 「学校教育と JRC ～思いやりの持続可能性

（気づき・考え・実行する）～」

発 表 校 立山町立釜ヶ淵小学校 射水市立片口小学校

黒部市立清明中学校 高岡市立南星中学校

イ メンバーのために行ったもの

1) 本社主催

・青少年赤十字スタディー・プログラム

従来は高校生対象のスタディー・センターとして JRC 活動のリーダーを養成するため、5 日間の日程で山中湖畔を会場に開催していたが、令和 2 年度から参集開催ができず、Web による実施となった。

また、令和 4 年度が JRC 創設 100 周年となることから、各県の活動の中心人物の育成、活動の輪を広げるため、高校生のみならず中学生にも参加者を拡大した。

当日は全国から 105 校、メンバー 307 人、指導者 65 人がそれぞれの学校等から参加した。当県からは、氷見高校メンバー 4 人と指導者 2 人、射北中学校メンバー 2 人が参加した。

2) 支部主催

・リーダーシップ・トレーニング・センター

高等学校部会については、8 月 3 日、Web により実施し、氷見高校、富山いずみ高校、高岡西高校、高岡向陵高校からメンバー 28 人、指導者 5 人が参加し、「新型コロナウイルスの 3 つの顔を知ろう！」を教材に、人道や感染予防についてグループ討議を行った。

例年、県内の青少年赤十字加盟校より、小・中・高等学校別に参加者を募り、青少年赤十字のリーダー養成を目的として実施しているが、令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため参集開催を中止した。

校 種	会 場	参加人数	月 日	備 考
小学校	砺波青少年自然の家	開催中止	7 / 28～7 / 29	1 泊 2 日
中学校			7 / 28～7 / 30	2 泊 3 日
高等学校	Web 開催	28 人	8 / 3	13 : 00～16 : 00

(4) 青少年赤十字活動実践校

青少年赤十字加盟校における活動の活性化を図ることを目的として、平成9年度から実施している「青少年赤十字活動推進校」の指定を「活動実践校」に改めた。

年間10校程度を指定し、各校のボランティア活動等既存の取組みも含め JRC の実践・態度目標に沿った活動を促進し、これを広く紹介することで青少年赤十字が学校教育に取り入れやすくなるものとした。

ア 実践報告集の発行

令和4年3月発行

令和3年度指定校 ・黒部市立清明中学校 ・富山市立榆原中学校
・射水市立小杉南中学校 ・高岡市立南星中学校 ・立山町立釜ヶ淵小学校
・富山市立藤ノ木小学校 ・射水市立片口小学校
・高岡市立国吉義務教育学校 ・富山県立高岡西高等学校

(5) 富山県青少年赤十字賛助奉仕団

次のとおり青少年赤十字の育成・支援に協力した。

月 日	行 事 名	場 所	備 考
6／22～6／23	第3ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会	静岡県	開催延期
7／17	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	Web 開催（本社）	委員長
7／28～7／31	青少年赤十字トレーニング・センター協力	砺波青少年自然の家	開催中止
年間通して	加盟勧誘・講演等	県内各学校	団員

(6) 青少年赤十字指導講師

平成13年に青少年赤十字活動の普及を目的に「富山県青少年赤十字指導講師設置要綱」を定め、以来上野紀一氏（元富山県青少年赤十字指導者協議会長）を指導講師に委嘱し、今年度も新規加盟勧誘や活動助言に努めた。

○訪問学校数 36校

(7) 青少年赤十字防災教育事業

青少年赤十字では、実践目標の一つである「健康・安全」のもと、防災教育を通して、自然災害から青少年が自らの健康と安全を守り、また、学校、地域、家庭での防災意識を高めることにより、一人ひとりが人間のいのちと健康、尊厳を守ることにつながるよう、プログラム及び教材の開発、研究を進めている。

日本赤十字社は、小・中・高校生を対象とした防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるほうさい」及び幼稚園・保育園向けの「ほうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を作成し、加盟校への配付や研修会での活用を行っている。

なお、防災啓発プログラム（P12）の関連講習として、児童・生徒に対する「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」等を活用した、新型コロナウイルス感染予防や差別防止の啓発を出前講座として4校で行った。

6 社会福祉活動

(1) 在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動

地域奉仕団が中心となり、活動を行う地域に居住する在宅ひとり暮らし高齢者宅を訪問している。この活動は、昭和52年から富山県の赤十字奉仕団が独自で行う社会福祉活動として42年間継続して実施している。



なお、平成28年度からは、春のみ年1回の実施とした。

また、高齢者と奉仕団員の双方が新型コロナウイルスによる感染を防ぐため、活動時には①必ずマスクを着用する②長時間の滞在はなるべく避ける③少しでも体調が優れない奉仕団員は、活動への参加を見合わせるの3点に注意するとともに、地域の感染状況を十分に注視しつつ慎重に実施した。

在宅ひとり暮らし高齢者訪問活動実績

年度	対象人数[春] (人)	対象人数[冬] (人)	経費[春・冬合算] (円)	持参品 [春]	持参品 [冬]	対象となるひとり暮らし高齢者
S 52	600～700		不明	花鉢		全員
S 53	(詳細不明)		不明	花鉢	足袋カバー	70歳以上
}						
H 4	4,260	4,365	4,790,320	花鉢	靴下	71歳以上
H 5	4,172	4,279	4,498,483	〃	〃	72歳以上
H 6	4,262	4,300	4,742,426	〃	〃	73歳以上
H 7	4,215	4,261	5,989,451	〃	〃	74歳以上
H 8	4,225	4,335	4,395,852	〃	〃	75歳以上
}						
H 26	9,898	9,971	6,922,494	ティッシュ5箱	靴下	75歳以上
H 27	7,640	7,148	5,071,555	〃	〃	80歳以上
H 28	7,345		1,965,972	〃		〃
H 29	7,747		2,066,817	〃		〃
H 30	7,745		1,968,414	〃		〃
R 1	7,647		1,992,209	〃		〃
R 2	7,181		1,976,849	〃		〃
R 3	7,740		2,110,694	〃		〃

(2) 身体障害者への援護

身体障害者を激励し、自立の意欲を高めるため、富山県点字競技大会に助成を行った。

7 救護看護師の養成

日本赤十字豊田看護大学

平成16年愛知県豊田市に開学した日本赤十字豊田看護大学への支部長推薦入学等による本県からの在学者5名に奨学金の助成を行った。

8 国 際 活 動

世界各地で、洪水・地震など大きな災害の発生や紛争・内乱などによる被災者・難民が、また発展途上の多くの国々では貧困・疾患などで苦しんでいる人々が援助を求めている。赤十字は192の国に広がる世界的ネットワークを生かし、様々な支援活動を行っている。

富山県支部では昭和62年のネパール給水施設整備に始まり、その後の国際支援活動に第3ブロックの各県支部と共同で拠出金を支出している。第3ブロックの送金総額2,000万円のうち、富山県支部は130万円を支出した。

令和3年度 富山県支部参加国際活動事業一覧

事業名	事業内容	事業期間	日赤第三ブロックの支出総額	富山県支部の支出総額
レバノン シリア難民支援事業	平成23年にシリアで発生した国内紛争が拡大し、隣国レバノンへ流出した難民は劣悪な環境で避難生活を続けている。レバノンにおけるシリア難民の水衛生環境の改善を目的とし、水衛生委員会の組織や研修等、水衛生管理を強化する。	単年度支援 (平成28年度からの事業)	8,000,000円 (令和3年度)	520,000円 (令和3年度)
アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業	洪水やサイクロンが多発している地域に、災害時迅速に給水・衛生活動が展開できるように「給水・衛生キット」を備蓄する。また、現地赤十字社のスタッフやボランティアを対象として機材のフォローアップ及び研修を継続的に支援している。	単年度支援 (平成22年度からの事業)	6,000,000円 (令和3年度)	390,000円 (令和3年度)
東アフリカ地域保健強化事業	自然災害や紛争、テロの頻発、さらに保健指標の低さや貧困率の高さ等、さまざまな課題を抱えた東アフリカ地域住民の保健、水・衛生、防災に関する知識を向上させる。また、防災や保健に関するアニメ映画の上映や現地ラジオ放送を通して啓発活動を実施する。	単年度支援 (平成30年度からの事業)	6,000,000円 (令和3年度)	390,000円 (令和3年度)

○ **NHK海外たすけあい救援金募集**

アジア、アフリカ等の開発途上国での保健衛生の向上、災害対策及び災害発生予防対策、災害被災者及び難民を救援するため、12月1日から25日まで“あなたのやさしさを”をスローガンに、日本赤十字社、日本放送協会、NHK厚生文化事業団の共催で実施し、期間中全国の受付窓口にあたたかい寄付金が寄せられた。富山県支部では、赤十字奉仕団員や青少年赤十字メンバーが、ショッピングセンター等で積極的に募金呼びかけを行った。

- 全 国 83,379件 720,882,194円
- 富山県 732件 6,895,801円

9 医 療 事 業

富山赤十字病院は、地域における公的医療機関として地域医療の充実と医療水準の向上に努めるとともに、災害時には、赤十字本来の業務として医師、看護師等からなる救護班を災害現場へ派遣し被災者の救護にあたる重要な任務を担っている。

このため、常に医療技術の向上と、施設・設備の充実を図るとともに、救護看護師の養成および救護訓練を実施するなど、赤十字病院としての特色を発揮しながら次の基本理念をもって、医療機関としての使命遂行に努めている。



理 念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基 本 方 針

- 1 患者さん中心の医療を提供します
- 2 より安全な医療の実践を目指します
- 3 地域医療に貢献する病院を目指します
- 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます
- 5 次代を担う医療従事者を育成します
- 6 働きがいのある病院運営に努めます
- 7 健全経営の維持に努めます

患者さんの権利

病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします

- 1 個人の尊厳が守られる権利
- 2 プライバシーが保障される権利
- 3 適切な情報と説明を受ける権利
- 4 自ら医療行為を選択する権利
- 5 適切で最善の医療を受ける権利
- 6 子どもたちが分かりやすく心のこもった医療を受ける権利

(1) 富山赤十字病院

概要

- 第二次救急指定病院 ■人間ドック・健診施設機能評価認定施設
- WHO・ユニセフ認定「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」
- 厚生労働省臨床研修指定病院 ■富山県がん診療地域連携拠点病院
- 日本医療機能評価機構認定病院 ■地域医療支援病院
- 災害拠点病院（地域災害医療センター） ■救急告示病院

ア 開 設 明治40年5月1日

イ 建物延面積 35,681.94㎡

ウ 診療科目 27科

総合内科、腎臓・リウマチ・感染症内科、糖尿病・内分泌・栄養内科、血液内科、神経内科、肝臓内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、高令心療科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、脳血管内治療科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、病理診断科

エ	病床数	401床
オ	外来患者数	204,620人（1日平均846人）
カ	入院患者数	110,833人（1日平均304人）
キ	健診活動	(ア) 検診者数 9,693人 (イ) 人間ドック（1泊2日） 599人
ク	医療社会事業活動	(ア) 健康教室 127回、489人（糖尿病、安産、禁煙） (イ) 医療相談等 13,970件 (ウ) ボランティア活動 3,537時間

ケ 臨時救護活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての行事を中止した。

コ 新型コロナウイルス感染症に対する対応

(ア) 感染症患者の受入れ

一病棟を新型コロナウイルス感染症病棟(19床)として設置し、令和3年5月2日から10月25日までの間、一日最大18名の陽性患者を受入れた。また、第6波の感染拡大に伴い令和4年1月7日から再び陽性患者の受入れを行っている。

(イ) ワクチン接種等の実施

令和3年3月から、院内にワクチン接種会場を設け、医療従事者、高齢者、（未成年者、小児を含む）一般市民を対象としたワクチン接種（1・2回目、3回目）を行ってきており、令和4年度においても引き続き対応している。

〈当院での接種延べ回数（令和3年3月～令和4年3月）：約12,250回〉

また、富山市からの要請に応じワクチン接種会場へ医師・看護師を派遣している。

(ウ) その他

- ・ 本社の要請を受け、大阪コロナ重症センターへ看護師2名を派遣した。

（4月20日～5月3日 1名 6月1日～6月20日 1名）

- ・ その他、発熱外来の開設や、富山市の要請を受け行政PCR検査等を実施している。



高齢者への新型コロナワクチン接種会場



大阪コロナ重症センターへ看護師2名を派遣

(2) **富山赤十字訪問看護ステーション**

地域医療・福祉の向上に努めるため、在宅療養される方へ24時間体制で日常生活の看護及び家族介護の支援を行っている。

従事者（看護師・作業療法士） 11名

利用者数 229名

訪問延べ回数 7,596回

(3) **愛宕・安野屋地域包括支援センター**

愛宕、安野屋地域を対象とし、介護予防の推進や総合相談業務、地域ケア体制の推進などの業務に取組み、高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活していけるよう支援している。

相談実件数 1,739件

(4) **富山赤十字ケアプラン事業所**

介護サービスを受けるために必要な要介護申請代行や居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行っている。

相談実件数 1,325件

(5) **患者支援センター**

平成29年10月に患者支援センターを開設した。

外来通院中から入院準備、入院治療、退院準備、退院後の外来通院という一連の流れを医師・看護師・社会福祉士・薬剤師・栄養士等他職種が連携しサポートしている。

従来の地域医療連携室を深化させ、今後より地域のかかりつけ医や行政、介護サービスとの連携を密にし、病院の理念である「人道博愛の赤十字精神に基づく良質で安全な医療の提供」を実践できるよう努めている。

10 血 液 事 業

富山県赤十字血液センターは、昭和40年1月に開設以来、輸血用血液製剤を必要としている方のため、多くの献血者から善意の血液を受け入れ、安全性確認の検査を経て製造された輸血用血液製剤を毎日県内の医療機関に届けている。

広域事業運営体制（東海北陸ブロック血液センター）により、輸血用血液製剤の安全性の向上と安定供給の確保に努めている。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、検温と手指消毒など徹底した感染対策を行い「新しい生活様式」に基づいた安心安全な献血会場の運営に努めるとともに、密集や密接を避けるため事前予約の推進を図り、各種団体、行政機関との連携強化や報道機関への協力要請するなど、献血者の確保に取り組むこととしている。

(1) 令和3年度実績の概要

ア. 献血実績

(単位：人)

	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
移動献血	779	20,662		
献血ルーム	451	3,884	8,165	3,459
合 計	1,230	24,546	8,165	3,459

イ. 供給実績

(単位：200mL 献血を1本として換算)

	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
全血製剤				
赤血球製剤	972	49,248		
血漿製剤	15	10,170	2,972	
血小板製剤				66,475
合 計	987	59,418	2,972	66,475

(2) 献血時の健康診断基準及び採血前検査の変更

・健康診断基準（血圧・脈拍・体温）の変更

令和2年9月1日に法（血液法）が改正され、献血にご協力いただく方の健康診断基準が新たに定められた。

新たな基準では、最高血圧が、90mmHg 以上179mmHg 以下、最低血圧は、50mmHg 以上109mmHg 以下。また、脈拍40回／分以上100回／分以下、体温37.4℃以下の方からご協力をいただくことになった。

- ・全血採血における採血前検査の変更

令和2年9月1日から、採血副作用の低減を目的に、移動採血車では、全血採血における採血前の検査用血液の採取方法が、肘周辺の静脈からではなく「指先から少量の血液を採取する方法」へ変更になった。



(3) 新型コロナウイルス感染予防対策

血液センターでは、献血会場での感染予防に取り組んでいる。




- ・入場には、「マスクの着用、体温測定、手洗い又は手指消毒」をお願いしている。

ご入場時のお願い		
		
マスク着用 <small>※マスクをお持ちでない方は職員へお申し出ください</small>	体温測定 <small>※発熱が確認された方は入場をご遠慮いただいています</small>	手洗い又は手指消毒

- ・混雑・密集回避として、「事前予約、少人数でのご来場」をお願いしている。

混雑・密集回避のためのお願い		
		
事前予約 <small>※予約時間にお越しください。 (予約されていない場合にはスタッフにお声がけください)</small>	少人数でのご来場 <small>※おしゃべりは控えめにお願いします</small>	十分に休憩した後は速やかな帰宅

- ・職員と会場内の感染予防に取り組んでいる。

職員と会場内の取り組み		
		
職員のマスク着用・体温測定・手指消毒の徹底	換気と消毒清掃の徹底	手指消毒液の設置

11 社会福祉事業

児童福祉施設

富山県立乳児院は、昭和27年から、社会的養護が必要な0歳からおおむね2歳までの乳幼児を預かり、24時間365日通して養育する富山県内では唯一の施設である。

養育目標を「安全で安心な環境と温かく安定した人間関係の中で子どもが育ち、心身ともに健やかに成長する」と掲げ、衣類、寝具などの備品、食事、入浴、睡眠などの暮らしの流れ・いとなみ、四季折々の行事など日常的な家庭環境を提供し、子どもの健やかな成長を支援している。

また、新型コロナウイルスの感染症の防止に努め、子どもの命・健康を守るために、「里親支援」「ショートステイ」「病児・病後児保育」の事業活動は人数等を制限し、ボランティア受入れは中止した。

令和3年度入所児童等状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
措置入所初日在籍人数	8	11	11	10	11	12	12	12	13	11	10	10	131
措置入所在籍延人数	313	349	329	338	320	360	372	351	390	318	280	280	4,000
一時保護委託受入人数	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	9
一時保護委託延人数	30	31	30	15	52	6	10	30	31	31	28	31	325
ショートステイ受入人数	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	5
ショートステイ延人数	6	0	2	14	2	6	0	0	0	0	0	0	30
病児・病後児保育児童数	25	20	25	27	13	1	15	19	31	13	0	0	189



12 会員の増強と社資の確保

日本赤十字社の活動資金は、会員から納入していただく「会費」と広く個人や法人あるいは団体から寄せられる「寄付金」から成り立っている。この「会費」と「寄付金」を合わせて「社資」と呼んでいる。

日本赤十字社富山県支部では、毎年5月を赤十字運動月間として、広く県民の皆様方に赤十字事業推進のため、会員加入を促進し、社資の増収に努めた。

(1) 赤十字運動月間を中心としての赤十字思想の普及

ア 支部広報紙「赤十字富山」430,000部を地区区分を通じ県下全世帯に配布した。

また、活動実績を中心とした「赤十字とやま」を年2回、市町村及び関係者に配付し、赤十字思想の普及と会員加入を呼びかけた（21地区区分中16地区区分で、自治会等の回覧に協力していただいている。）。

イ 本社からのポスター、リーフレット等を地区区分等関係機関に提供し、運動月間における会員の増強について協力を依頼した。

ウ マスコミを通じての普及を図るため、テレビ局・ケーブルテレビ局及びラジオ局に本社より配布のCMテープ、ブルーレイ等を配布し、県民への周知方協力を依頼した。

エ 5月8日の世界赤十字デーを中心に、「レッドライトアッププロジェクト」を実施した。

県内での取り組み

○株式会社インテック（タワー111）

5月1日(土)～8日(土) 日没後～22:00まで 赤色照明

(2) 会員の増強

ア 赤十字会員には、県民の皆さんがその趣旨に賛同され、会員に加入し、その能力に応じて会費を拠出していただく会員制度本来の姿が望ましく、この趣旨により、特別社員以上の会員の増強に努めた。

イ 個人篤志者等に支部広報紙「赤十字富山」を同封し、ダイレクトメールによって会費への協力を依頼した。

ウ 法人会員の増強については、新規法人の開拓を進めるとともに、災害救護事業等指定事業への協力をダイレクトメールにより依頼した。

- エ 会員とのコミュニケーションを図り、感謝の気持ちを表すとともに引き続きの支援をお願いすることを目的として、寄付者に対し、お礼の電話をおかけした。
- オ 会員に日本赤十字社会員誌「Cross-com Book」を送付し、会費の使途や活動報告を行った。

(3) 地区分区との協力体制の強化

会員の増強・社資の確保により、支部事業を推進するため、地区分区とのより緊密な協力体制の強化に努めた。

ア 地区分区委嘱職員研修会

令和4年2月25日に開催。日本赤十字社富山県支部において、地区分区委嘱職員に、令和4年度の支部事業、社資依頼額及び予算その他赤十字業務全般についての研修を行った。

(4) 企業とのパートナーシップ

赤十字の活動に継続的にご協力いただく企業・団体の皆様とパートナーシップを結び、共に社会に貢献する活動を行いながら、相互に発展できる関係の構築を推進している。

赤十字支援マークの使用

企業の広告媒体や商品等に赤十字支援マークを使用することによる赤十字活動への資金協力や赤十字寄付付き自動販売機の設置等、企業のCSR活動を推進した。

内 容	協力企業数
寄付機能付き自動販売機	2 社
ポイントによる寄付	2 社
売り上げの一部を寄付	1 社

(5) 遺贈寄付に関する協定締結

令和3年10月8日に株式会社北陸銀行と日本赤十字社富山県支部の間で、遺言を活用した遺贈寄付に関して連携する協定を締結した。

(6) 社資功労感謝状伝達式

社資募集に貢献された個人・法人のうち金色有功章以上の表彰となる方々を対象に、県庁特別室において、社資功労感謝状伝達式を開催し、日本赤十字社富山県支部副支部長（富山県厚生部長）から感謝状が伝達された。

令和3年10月26日

社長感謝状	個人	1名
〃	法人	8社
金色有功章	個人	7名
〃	法人	14社

令和4年3月25日

厚生労働大臣感謝状	個人	1名
社長感謝状	個人	2名
〃	法人	1社
金色有功章	個人	2名
〃	法人	4社

(7) 富山県赤十字有功会総会

新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止のため、文書審議での実施とし、令和2年度事業報告、決算報告並びに令和3年度事業計画案、予算案、役員改選等について審議いただいた。

190名の方より書面議決書を受領し集計した結果、いずれの議案も原案どおり承認された。

なお、講演会・懇親パーティについては中止とした。

(8) 全国赤十字大会

例年5月に、名誉総裁皇后陛下を始め各名誉副総裁（秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃殿下）ご臨席の下、明治神宮会館（東京都）で開かれていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(9) 日赤紺綬・有功会会長協議会の総会

全国47都道府県の紺綬有功会、有功会会長をもって組織されている「日赤紺綬・有功会会長協議会」の総会が、10月7日～8日群馬県において開催される予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文書審議での実施となった。

令和2年度収支決算報告、会計監査報告、役員の改選等について審議され、いずれも承認された。

(10) 社資の募集実績

ア 社資募集実績額

(単位：円)

区 分			目 標 額	実 績 額	達成率(%)
社資総額			184,000,000	232,995,652	126.6
内 訳	一般社資	会 費	156,000,000	161,498,707	103.5
		寄 付 金	10,000,000	36,270,982	362.7
		指定事業社資	0	0	—
		合 計	166,000,000	197,769,689	119.1
	法人社資	指定事業	5,030,000	5,030,000	100.0
		そ の 他	12,970,000	30,195,963	232.8
		合 計	18,000,000	35,225,963	195.7

※上記の中には次の寄付金があります。

1. 病院指定 23,885,000円 (個人 15,385,000円 法人 8,500,000円)
 2. 乳児院指定 250,000円 (個人 50,000円 法人 200,000円)

イ 社資功労受章者

○厚生労働大臣感謝状（個人）

故 池上 一浩（富山市） 池上 佳子（富山市） 圓谷 朗雄（富山市）
 高木 信行（砺波市） 高野 光子（高岡市） 堂田 重明（富山市）
 牧田 和樹（富山市） 満間 信江（富山市） 森 吉明（富山市）
 横山 新一（富山市）

○厚生労働大臣感謝状（団体）

朝日印刷株式会社（富山市）

○社長感謝状（個人）

岩上 幹夫（黒部市） 小西 広一（富山市） 三條 孝順（富山市）
 竹田 幸悦（立山町） 延野 源正（高岡市） 樋口ちづ子（富山市）

○社長感謝状（法人）

株式会社アーキジオ（高岡市） 一般財団法人浅田慈善園（富山市）
 黒部エムテック株式会社（黒部市）
 コーシン・サントリービバレッジ株式会社富山支店（富山市）
 株式会社米三（富山市） 津根精機株式会社（富山市）

富山県信用組合（砺波市） 株式会社バロン（富山市）
 北星ゴム工業株式会社（黒部市） 株式会社北陸銀行（富山市）
 北陸プラントサービス株式会社（富山市）
 株式会社北陸プレート製作所（富山市）
 ホテルグランテラス富山（富山市） 明治薬品株式会社（富山市）

○金色有功章（個人）

故 青木 和枝（大阪府） 押川 和子（高岡市） 笹木 隆（富山市）
 上不 収治（朝日町） 曾田 朝子（高岡市） 竹内 時正（射水市）
 塚田 貞子（入善町） 中島 直美（富山市） 西田 弘（富山市）
 松長 一雄（高岡市） 松長 久子（高岡市） 松林 富子（南砺市）
 水越 博子（富山市） 水越 靖（富山市） 安井 千明（富山市）
 吉田とし子（射水市）

○金色有功章（法人）

アイディック株式会社（射水市） 石動コーキング株式会社（富山市）
 射水工業株式会社（射水市） 株式会社かけい補償コンサルタント（富山市）
 株式会社グッドクラスター（砺波市） 三機工業株式会社北陸支店（富山市）
 有限会社ジェイズコーポレーション（富山市）
 神通運輸株式会社（富山市） 世界平和統一家庭連合富山教区（富山市）
 タナベ自動車株式会社（高岡市） 中越興業株式会社（南砺市）
 富山間税会（富山市） 富山市農業協同組合（富山市）
 成瀬電気工事株式会社富山支店（富山市）
 日清工業株式会社（富山市） 日東メディック株式会社（富山市）
 株式会社ハマデン（富山市） 株式会社福見建築設計事務所（富山市）
 株式会社北陸セラミック（魚津市） 北陸電力株式会社（富山市）
 株式会社森山電機製作所（富山市）

※ ご意向を確認できた方のみ掲載しております。

13 赤十字思想の普及

支部では、各種の広報資料を活用し、赤十字に対する理解と協力を求めている。

(1) 事業を通じての広報

赤十字奉仕団および青少年赤十字による奉仕活動の推進を通しての広報のほか、地域・職場における献血や救急法等赤十字講習など実施の場合にも、チラシの配布、国際救援や赤十字活動を紹介する DVD の上映など、できる限りわかり易い方法で赤十字全般にわたる広報に努めた。

(2) マスコミを通じての広報

赤十字運動月間の CM を県内テレビ局、ラジオ局、ケーブルテレビ局に持参し、社業の浸透を図った。

(3) 刊行物等による広報

赤十字の PR 用として配付活用した資料は、次のとおりである。

(刊行物)

- 日本赤十字社会員誌「Cross-com Book」
- 赤十字運動月間ポスター
- 赤十字運動月間パンフレット
- 赤十字 NEWS（月 1 回発行）
- ACTION! 防災・減災ポスター
- 広報紙「赤十字富山」（年 1 回発行 県内全世帯配布）
- 広報紙「赤十字とやま」（年 2 回発行）
- 令和 3 年度事業報告、令和 4 年度事業計画
- 救急法の基礎知識～備えあれば安心～
- 知っていれば安心です～心肺蘇生と AED～
- 手ではなそう
- 赤十字ボランティア活動ブックレット
- 赤十字ボランティア情報誌「RCV」（年 2 回発行）
- 機関紙「奉仕団とやま」（年 1 回発行）
- 青少年赤十字機関紙（小・中・高用）
- 青少年赤十字指導者手引

- 青少年赤十字指導情報
- 青少年赤十字ハンドブック
- 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター・ガイドブック
- 赤十字の父アンリー・デュナン
- ソルフェリーノの思い出
- 機関紙「JRC とやま」（年 1 回発行）
- 富山県青少年赤十字活動推進校研究報告書（年 1 回発行）

(4) 広報視聴覚資料一覧

題 名	内 容	時 間	制作年
赤十字この一年	赤十字の活動を網羅的に紹介	15分	毎年
赤十字の基本原則	赤十字基本原則をアニメーションで紹介	3 分	平成29年
赤十字の成り立ちと活動	赤十字の成り立ち、日本赤十字社の成り立ち、日本赤十字社事業を紹介	6 分	平成25年
「新型コロナウイルス感染症」まん延下での災害救護活動～貴島明日香の日本赤十字社リポート～	2020年 1 月から続く日赤の新型コロナウイルス感染症に関する知られざる対応と令和 2 年 7 月豪雨災害での活動を、インタビューを交えながら収録	27分	令和 2 年
バングラデシュ避難民に寄り添って～海外救援看護師のルポルタージュ～	2017年 8 月、ミャンマーで発生した大規模な暴力から逃れ、隣国バングラデシュに避難した70万もの避難民。その避難民が「ジャパンクリニック」と呼ぶ日本赤十字社の診療所で奮闘する海外救援看護師のルポルタージュ。	29分	令和 3 年

14 支部・施設間の連絡調整

支部・施設（病院、血液センター等）間の連絡調整を行い、赤十字事業推進の一体化と円滑なる運営を図るため、支部・施設業務連絡会議等を開催した。

○ 支部施設業務連絡会議（年 1 回）

- ・ 事業計画の推進 ・ 職員の人材育成、研修計画 ・ 職員合同採用
- ・ 災害救護訓練 ・ もっとクロス！計画の取り組み他

(ア) 広報担当者部会（年 3 回）

(イ) 研修担当者部会（年 1 回）

(ウ) 災害救護等担当者部会（年 1 回）

15 日本赤十字社富山県支部役員名簿

令和4年4月1日現在

支 部 長	新 田 八 朗	富山県知事
副 支 部 長	木 内 哲 平	富山県厚生部長
	夏 野 修	富山県市長会長（砺波市長）
	舟 橋 貴 之	富山県町村会長（立山町長）
監 査 委 員	笹 原 靖 直	富山県町村会副会長（朝日町長）
	荒 井 公 夫	元末広開発(株)相談役
本社代議員（理 事）	久 和 進	北陸電力(株)相談役
本社代議員	朝 日 重 剛	朝日印刷(株)代表取締役会長
〃	山 下 和 夫	赤十字奉仕団富山県支部委員会 名誉委員長
評 議 員（富山市地区）	今 本 雅 祥	富山市副市長
〃（ 〃 ）	高 城 繁	富山市社会福祉協議会長
〃（ 〃 ）	山 村 敏 博	富山市民生委員・児童委員協議会長
〃（ 〃 ）	北 岡 勝	富山市自治振興連絡協議会長
〃（ 〃 ）	高 道 裕 行	富山市共同募金委員会会長
〃（ 〃 ）	土 肥 靖 子	富山市赤十字奉仕団代表
〃（ 〃 ）	麻 畠 裕 之	富山市老人クラブ連合会長
〃（ 〃 ）	和 田 麗 子	富山市母親クラブ連絡協議会相談役
〃（ 〃 ）	中 村 ひとみ	富山市赤十字奉仕団代表
〃（高岡市地区）	河 村 幹 治	高岡市副市長
〃（ 〃 ）	浦 田 一 郎	高岡市連合自治会長
〃（ 〃 ）	尾 崎 憲 子	高岡市社会福祉協議会長
〃（ 〃 ）	田 辺 恵 子	高岡市地区赤十字奉仕団代表
〃（射水市地区）	夏 野 元 志	射水市長
〃（ 〃 ）	竹 苗 典 子	射水市地区赤十字奉仕団代表
〃（魚津市地区）	村 椿 晃	魚津市長
〃（氷見市地区）	林 正 之	氷見市長
〃（滑川市地区）	水 野 達 夫	滑川市長
〃（黒部市地区）	大 野 久 芳	黒部市長

評 議 員（砺波市地区）	齊 藤 一 夫	砺波市副市長
〃（南砺市地区）	田 中 幹 夫	南砺市長
〃（小矢部市地区）	桜 井 森 夫	小矢部市長
〃（新川厚生センター）	笹 島 春 人	入善町長
〃（中部厚生センター）	古 越 邦 男	舟橋村長
〃（支部長選出）	中 井 敏 郎	富山商工会議所常議員
〃（ 〃 ）	岩 田 繁 子	富山県婦人会長
〃（ 〃 ）	岡 崎 智 子	赤十字奉仕団富山県支部委員会委員長
〃（ 〃 ）	金 岡 克 己	富山県赤十字有功会長
〃（ 〃 ）	稲 田 壮 一	富山県青少年赤十字指導者協議会長

16 日本赤十字社富山県支部・施設一覧

令和4年4月1日現在

	施 設 名	代 表 者 等	職員数
支 部	日本赤十字社富山県支部	事務局長 大坪 昭一	10
施 設	富 山 赤 十 字 病 院	病院長 平岩 善雄	788
	（受託）富山県立乳児院	院 長 〃	29
	富山県赤十字血液センター	所 長 横川 博	43

※富山赤十字看護専門学校は、令和3年3月31日をもって閉校となりました。

資 料 I

地区分區別 活動狀況

17 救護装備品配備状況

地区区分	災害 救援車 (台)	R3年度	R2年度	H28～R元年度	H27年度	H24～25年度	H20～26年度	H18～19年度
		大型サーキュレーター (車両更新)	大型サーキュレーター (車両更新)	(車両更新)	救護所用テント (車両更新)	発電機・AED・救護所用 テント・救急セット (車両更新)	炊き出し用炊飯器 (車両更新)	救護所用テント (車両更新)
富山市	1	18	5		2	AED (1)	9	49
富山市大沢野	※1					発電機	1	5
富山市大山	1					発電機	1	4 (1)
富山市八尾	1					救護所用テント	1	10
富山市婦中	※1				1	救護所用テント	1	9
富山市山田	※				(1)	救急セット	1	2
富山市細入	※					発電機 (1)		2
高岡市	1	7	3	(1)		発電機	6	26
高岡市福岡	1					発電機	1	1
魚津市	1	1 (1)	1			AED	1	16
氷見市	1	3	1	(1)	8	AED	4	20
滑川市	1	2	1	(1)	4	AED	1	5
黒部市	1	2 (1)	1		5	発電機	1 (1)	10
黒部市宇奈月	1					発電機 (1)	1	1
砺波市	1	2	1			発電機	1	19 (1)
砺波市庄川	1					AED	1	4
小矢部市	1	1	1	(1)		発電機	1	20
南砺市城端	1	1 (1)			1	発電機	1	1
南砺市平	1				1	AED	1 (1)	1
南砺市上平	1				1	AED	1	1
南砺市利賀	1					AED (1)	1	1
南砺市井波	1				2	救護所用テント (1)	1	1
南砺市井口	1					発電機	1 (1)	1
南砺市福野	1		1	(1)	2	発電機	1	1 (1)
南砺市福光	1	1		(1)	1	AED	1	2
射水市新湊	1	1				AED	1 (1)	2
射水市大島	1		1 (1)			発電機	1	1
射水市小杉	1	3				発電機	2	1 (1)
射水市大門	1		1 (1)			発電機	1	1
射水市下	1					発電機	1	1 (1)
入善町	1	2	1	(1)		救護所用テント	1	12
朝日町	1	1		(1)		AED	1	10
舟橋村	1	1				発電機	(1)	1
上市町	1	2	1			発電機	1	16
立山町	0	2	1			救護所用テント	1	11
合 計		50 (3)	20 (1)	(8)	28 (1)	35 (5)	50 (5)	268 (5)

※富山市大沢野と細入、婦中と山田が車両を共同利用

18 令和3年度地区・分区救援物資分置状況

地区分区	年度中交付数	毛布	綿毛布	緊 急 セット	タオル	鍋セット	ポット	カセット コンロ	安 眠 セット	石鹸
	年度末分置数									
富 山 市	交付数	4	1	3	30	0	1	3	0	0
	分置数	12	12	3	120	0	3	3	0	0
富山市大沢野	交付数	1	1	1	10	1	0	0	0	0
	分置数	20	10	4	100	2	0	2	0	0
富山市大山	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	6	6	2	60	1	0	1	0	0
富山市八尾	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	20	10	4	100	2	0	2	0	2
富山市婦中	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	8	4	190	2	0	2	0	1
高 岡 市	交付数	25	0	5	130	5	0	5	0	0
	分置数	20	10	10	240	6	0	6	0	10
魚 津 市	交付数	2	0	1	10	1	0	1	0	0
	分置数	24	24	9	240	6	0	6	0	20
氷 見 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	16	6	7	120	6	0	6	0	7
滑 川 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	12	6	2	60	2	0	2	0	2
黒 部 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	24	24	9	240	6	0	6	0	6
砺 波 市	交付数	6	0	2	30	2	0	2	0	0
	分置数	13	16	4	190	2	0	2	0	0
砺波市(庄川)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	15	5	3	100	3	0	3	0	0
小 矢 部 市	交付数	56	0	11	270	4	0	4	0	0
	分置数	12	0	3	60	1	0	1	0	0
南砺市(福祉課)	交付数	41	0	8	240	6	0	6	0	0
	分置数	20	18	10	200	5	0	5	0	5
南 砺 市 (平)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	0	1	0	5
南砺市(上平)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	0	1	0	5
南砺市(利賀)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	0	1	0	5
射 水 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	20	20	4	200	4	0	4	0	20
新川厚生センター	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	8	8	3	140	2	0	2	0	18
入 善 町	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	16	13	6	160	4	0	4	0	2
朝 日 町	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	15	10	3	80	2	0	2	0	2
立 山 町	交付数	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	分置数	30	6	4	160	3	0	3	0	0
令和3年度 合 計	年度中交付数	135	2	32	720	19	1	21	0	0
	年度末分置数	343	224	109	3,060	62	3	65	0	110

※令和3年度末に救援物資を分置している地区・分区のみ記載

19 近年の県内大規模災害に対する救援物資交付状況

災 害 名	世帯数	人員	毛布	綿毛布	緊急セット	タオル	安眠セット	石鹸
入善高波災害（H20. 2）	26	53	62		65	900	40	76
南砺豪雨災害（H20. 7）	59	160	81	13	74	2,170		69
高岡市水害（H24. 7）	102	258	20	10	100	2,580		108
魚津大規模火災（H25.11）	9	22	37		8	150		
南砺市地滑り災害（H29. 1）	4	6	4	2	4	40		
小矢部市強風火災（R 4. 3）	4	15	42		9	200		

その他の災害に対する救援物資交付状況

地区区分	R 3			R 2			R 1			H30			H29		
	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金
富 山 市	4	4	2	4	5	2	5	10	3				6	13	4
富山市大沢野	1	2					2	6							
富山市大山				2	2										
富山市八尾							1	2							
富山市婦中	1	1	1	1	2		2	4	1	1	2		2	10	
高 岡 市	5	13	1	2	4	1	3	11		5	13	1	8	19	1
魚 津 市	2	4	1				2	4					1	1	
氷 見 市				3	10	3	2	4		5	20	1	7	22	
滑 川 市										1	1		1	6	
黒 部 市	1	1	1	2	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1
砺 波 市	2	3		3	6	1	3	14		3	16	4	1	1	
小 矢 部 市	5	22		1	1	1	1	2					1	5	
南 砺 市	6	24		1	1	1									
南砺市(城端)				3	4								2	8	
南砺市(平)															
南砺市(利賀)															
南砺市(福野)				1	2		2	3							
南砺市(福光)				1	3					1	1		2	9	
射 水 市				12	25					5	10	1	6	14	1
入 善 町							2	3	1	1	2				
朝 日 町				1	1								3	8	
上 市 町				1	3					2	9	2			
立 山 町	1	2								1	3		1	1	1
合 計	28	76	6	38	71	9	26	64	6	26	78	10	42	118	8

※交付実績のある地区・区分のみ記載

20 令和3年度講習実績一覧表

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市	西田地方保育園	職員	31	幼児安全法
	にながわ保育園	職員	32	幼児安全法
	//	職員	16	幼児安全法
	桜谷保育園	職員	40	幼児安全法
	八幡小学校	教職員	12	救急法
	豊田小学校	教職員・PTA	44	救急法
	藤ノ木小学校	教職員	38	救急法
	広田小学校	教職員	18	救急法
	古沢小学校	教職員	16	救急法
	太田小学校	教職員	15	救急法
	光陽小学校	教職員	34	救急法
	長岡小学校	教職員	10	救急法
	水橋中部小学校	教職員	15	救急法
	芝園小学校	教職員・PTA	65	救急法
	新庄北小学校	教職員	25	救急法
	寒江小学校	教職員・PTA	28	救急法
	老田小学校	教職員	17	救急法
	岩瀬小学校	教職員	12	救急法
	呉羽小学校	教職員	30	救急法
	萩浦小学校	教職員	17	救急法
	浜黒崎小学校	教職員	12	救急法
	山室中部小学校	教職員	26	救急法
	草島小学校	教職員	11	救急法
	柳町小学校	教職員	22	救急法
	針原小学校	教職員	20	救急法
	上条小学校	教職員	12	救急法
	新庄小学校	教職員	29	救急法
	中央小学校	教職員	17	救急法
	奥田小学校	教職員	22	救急法
	東部小学校	PTA・生徒	46	救急法
	柳町小学校	児童	20	救急法
	桜谷小学校	児童	217	水上安全法
	神明小学校	児童	27	水上安全法
	朝日小学校	児童	63	水上安全法
	樫尾小学校	児童	28	水上安全法
	富山大学附属中学校	教職員	43	救急法
	興南中学校	教職員	20	救急法
	呉羽中学校	教職員	30	救急法
	堀川中学校	教職員	36	救急法
	新庄中学校	教職員	30	救急法
	和合中学校	教職員	20	救急法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市	西部中学校	教職員	24	救急法
	奥田中学校	職員	10	救急法
	三成中学校	生徒	44	救急法
	富山いずみ高校	生徒	39	災害時高齢者生活支援
	//	生徒	38	災害時高齢者生活支援
	富山高校	教職員	26	救急法
	富山学園	教職員	12	救急法
	高志支援学校	教職員	36	救急法
	しらとり支援学校	教職員	146	救急法
	恵光学園	職員・保護者	28	幼児安全法
	呉羽公民館	子育て支援センター会員	6	幼児安全法
	速星公民館	子育て支援センター会員	5	幼児安全法
	奥田公民館	保育補助スタッフ	11	幼児安全法
	針原公民館	子育て支援センター会員	8	幼児安全法
	柳町公民館	子育て支援センター会員	7	幼児安全法
	藤ノ木公民館	子育て支援センター会員	5	幼児安全法
	四方公民館	奉仕団員	11	健康生活支援
	新庄北公民館	地域住民	26	災害時高齢者生活支援
	水橋児童館	子育てサークル親子・スタッフ	10	幼児安全法
	中町ケアタウン	職員	4	救急法
	//	職員	6	救急法
	//	職員	7	救急法
	//	職員	6	救急法
	//	職員	4	救急法
	アピアスポーツクラブ	職員	35	救急法
	//	職員	39	救急法
	//	職員	14	救急法
	昭和電工セラミックス	職員	19	救急法
	三寿苑	職員	13	救急法
	サクラボックス	職員	12	救急法
	東京海上日動火災保険富山支店	職員	15	救急法
	エニタイムフィットネス富山経堂店	職員	3	救急法
	ファニチャーパーク K3	職員	39	救急法
	県総合体育センター	新採幼教諭・保育士	46	幼児安全法
	//	消防初任科生	33	水上安全法
	市民プール	職員	25	水上安全法
	//	職員	24	水上安全法
	子育て支援センター	ファミリーサポートセンター会員	20	幼児安全法
	県総合教育センター	新採養護教諭	5	救急法
	安全衛生教育センター	衛生管理受講者	89	救急法
	のづみ異世代交流館	職員	20	健康生活支援
	東富山温水プール	職員	18	救急法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富 山 市	Toyama Sakura ビル	プールアルバイト	8	救急法
	県総合体育センター	協会員	28	救急法
	サンフォルテ	里親	9	幼児安全法
	県総合福祉会館	県児童クラブ指導員	15	救急法
	子育て支援センター	乳幼児とその親子	15	幼児安全法
	県生協富山センター	一般	9	救急法基礎
	赤十字血液センター	職員	17	救急法
	//	職員	20	救急法
	//	中学生	4	救急法
	健保連富山会館	組合員	38	健康生活支援
	マリエ献血ルーム	職員	7	救急法
	//	職員	7	救急法
	県立乳児院	職員	6	幼児安全法
	//	職員	6	幼児安全法
	//	親子	10	幼児安全法
	//	職員	6	幼児安全法
	//	職員	6	幼児安全法
	100件		2,470	
富山市大沢野	くまのこども園	子育てサークル親子・スタッフ	8	幼児安全法
	青い鳥保育園	職員	20	幼児安全法
	大久保ふれあいセンター	子育て支援センター会員	5	幼児安全法
	ウィンディ	職員	43	救急法
	//	プールアルバイト	5	救急法
	5 件		81	
富山市大山	大庄小学校	教職員	17	救急法
	1 件		17	
富山市八尾	樫尾小学校	教職員・PTA・児童	40	救急法
	八尾健康福祉総合センター	子育て支援センター親子・スタッフ	8	幼児安全法
	八尾コミュニティーセンター	PTA	51	救急法
	3 件		99	
富山市婦中	速星小学校	教職員・PTA	40	救急法
	速星公民館	プール管理者	65	救急法
	//	養護教諭	58	救急法
	//	養護教諭	52	救急法
	宮野小学校	教職員	16	救急法
	富士薬品	職員	11	救急法
	//	職員	7	救急法
	//	職員	25	救急法
	ふれあい会館	子育て支援センター会員	6	幼児安全法
	9 件		280	
富山市山田				
富山市細入				

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
高岡市	高岡向陵高校	生徒・教職員	20	救急法
	野村小学校	教職員	33	救急法
	高岡向陵高校	生徒・教職員	20	救急法
	能町小学校	教職員	29	救急法
	横田小学校	教職員	10	救急法
	木津小学校	教職員	20	救急法
	牧野小学校	教職員	37	救急法
	高岡工芸高校	生徒	65	救急法
	//	生徒	85	救急法
	//	生徒	76	救急法
	//	生徒	44	救急法
	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所	学生	25	幼児安全法
	下関公民館	地域住民	20	災害時高齢者生活支援
	伏木高校	生徒	14	健康生活支援
	県生協西部センター	活動会員	7	健康生活支援
	こどものその	保護者	10	幼児安全法
	16件		515	
魚津市	経田小学校	町内会	120	救急法
	魚津漁業協同組合	技能実習生	45	救急法
	つばめ児童センター	ファミリーサポートセンター会員	17	幼児安全法
	農村環境改善センター	奉仕団員	24	災害時高齢者生活支援
	4件		206	
氷見市	旧若葉保育園	子育てサークル親子・スタッフ	6	幼児安全法
	余川谷農業研修館	子育てサークル親子・スタッフ	10	幼児安全法
	善照寺	子育てサークル親子・スタッフ	15	幼児安全法
	余川農業研修館	子育てサークル親子・スタッフ	7	幼児安全法
	久目地区交流館	森林組合員	11	救急法
	5件		49	
滑川市	県生協東部センター	活動会員	6	健康生活支援
	交流プラザ	保育補助スタッフ	12	幼児安全法
	2件		18	
黒部市	愛本公民館	地域住民	15	災害時高齢者生活支援
	1件		15	
砺波市	出町児童センター	児童厚生員・職員	10	幼児安全法
	砺波青少年自然の家	学生ボランティア	12	救急法
	//	スキーパトロール隊員	8	救急法
	3件		30	
砺波市庄川				
小矢部市	蟹谷中学校	PTA	23	救急法
	くりからの里	職員	28	救急法
	2件		51	
南砺市城端				

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
南 砺 市 平				
南砺市上平	上平交流センター	上平赤十字奉仕団	9	救急法
	1 件		9	
南砺市利賀				
南砺市井口				
南砺市井波				
南砺市福野	エイム ア・ミュー	職員	6	水上安全法
	1 件		6	
南砺市福光	福光児童館	ファミリーサポートセンター会員	20	幼児安全法
	1 件		20	
射 水 市	片口小学校	児童・教員	28	健康生活支援
	新湊小学校	児童	134	水上安全法
	新湊高校	教職員	17	救急法
	//	教職員	13	救急法
	いみず市民交流プラザ	PTA	42	救急法
	//	ファミリーサポートセンター会員	15	幼児安全法
	//	ファミリーサポートセンター会員	14	幼児安全法
	7 件		263	
入 善 町	うるおい館	入善町赤十字奉仕団	40	災害時高齢者生活支援
	1 件		40	
朝 日 町	サンリーナ	朝日町赤十字奉仕団	35	災害時高齢者生活支援
	1 件		35	
舟 橋 村	子育て支援センター	子育て支援センター会員	10	幼児安全法
	1 件		10	
上 市 町	文化研修センター	PTA	48	救急法
	働く婦人の家	上市町赤十字奉仕団	15	健康生活支援
	2 件		63	
立 山 町	釜ヶ淵公民館	地区住民	6	幼児安全法
	下段公民館	子育てサロン会員・スタッフ	10	幼児安全法
	保険センター	子育て支援参加親子・職員	13	幼児安全法
	林業カレッジ	林業従事者	19	救急法
	4 件		48	
合 計	170件		4,325	

* 支部主催の講習は除く。

21 赤十字奉仕団 令和3年度主要地域活動 一覧（地域奉仕団・地区分區別）

富山市地区	富山市地区赤十字奉仕団 蛭川 清水町 愛五 白菊 四方 新庄 安野屋 山室 新庄北（柳町、堀川南休団） 計11団 554名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 808人（蛭川160人、清水町120人、愛五80人、白菊90人、四方70人、新庄65人、安野屋50人、山室118人、新庄北55人）
	地域防災・救護活動 蛭川 蛭川小学校で牛乳パックを使った一人用非常セット作りの授業（講師） 清水町 地区防災会に参加3回 新庄 新庄校下訓練参加
	施設等奉仕作業 愛五 赤十字病院 延べ53人 白菊 赤十字病院 延べ82人 四方 ふるさとのかき、一休庵 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 新庄 赤十字病院 延べ106人 公民館清掃 安野屋 赤十字病院 延べ46人 山室 赤十字病院 延べ104人 新庄北 赤十字病院 延べ144人
	献血呼びかけ 蛭川 ファボーレ 3回 清水町 ファボーレ 1回 愛五 ファボーレ 1回 白菊 大阪屋ショップ呉羽店 2回 四方 アピタ富山東店 1回 新庄 ファボーレ 1回、アピタ富山東店 1回 安野屋 ファボーレ 1回 山室 ファボーレ 2回 新庄北 ファボーレ 1回、アピタ富山東店 1回
	特記活動 蛭川 ふるさとづくり三世代交流 愛五 地区サマーフェスティバル （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 白菊 交通安全マスコット作り 四方 四方小学校（JRC）とともにひとり暮らし高齢者訪問 忠魂碑周辺除草、清掃 新庄 ひとり暮らし高齢者への年賀状作り 山室 山室エールキャンドル協力 新庄北 オータム祭参加協力

富山市大沢野分区	大沢野赤十字奉仕団 19名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 78人
	地域防災・救護活動 市防災訓練 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	施設等奉仕作業 猿倉山フェスティバル (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 1回

富山市大山分区	大山赤十字奉仕団 40名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 171人
	施設等奉仕作業 はなさき苑 花苗植え、納涼祭手伝い ルンビニ園 草刈り
	献血呼びかけ ファボーレ 1回

富山市八尾分区	八尾町赤十字奉仕団 145名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 245人
	地域防災・救護活動 PTA 親子炊出し 行事救護所 (新型コロナウイルスの影響で活動休止) (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	施設等奉仕作業 のりみね苑 椿寿荘、野積園、八尾園 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 2回

富山市婦中分区	婦中赤十字奉仕団 51名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 144人
	施設等奉仕作業 豊佳苑 マスク寄贈 富山病院 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 3回
	特記活動 婦中町防犯パトロール協力 婦中町ボランティアパネル作り 文化祭でマスク入れ配布 2回

富山市山田分区	山田赤十字奉仕団 24名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 17人
	施設等奉仕作業 あざみ園 シーツ交換（25回）
	献血呼びかけ ファボーレ 1回
	特記活動 社会福祉協議会配食ボランティア協力 花鉢・弁当宅配訪問 文化祭協力

富山市細入分区	細入赤十字奉仕団 28名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 28人
	施設等奉仕作業 細入まつり (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 1回

高岡市地区

高岡市地区赤十字奉仕団

高岡南部丸美

吉久睦

伏木

中田

高岡中央

福岡町

立野

計 7 団

410名

ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数）

1449人（高岡南部丸美52人、吉久睦35人、伏木278人、中田52人、高岡中央840人、福岡町175人、立野17人）

地域防災・救護活動

高岡南部丸美

カローリング大会で救護活動

伏木

伏木ふれあいの杜救護班協力

7 回

伏木観光まつり救護班協力

児童クラブふれあい地引網救護班派遣

雨晴マリーナ救護所待機12日間

伏木方面団秋季検閲訓練（炊き出し協力）

（新型コロナウイルスの影響で活動休止）

立野

炊き出し訓練

（新型コロナウイルスの影響で活動休止）

施設等奉仕作業

伏木

ふしき苑で球根・花苗植込み

2 回

雨晴苑で除草作業

中田

長生寮、志貴野ホーム

（新型コロナウイルスの影響で活動休止）

福岡町

あおぞら保育園のグラウンド除草

清楽園に団員縫製品、飲料寄贈

アルテン赤丸の敬老会にティッシュと飲料寄贈

かごめ苑に果物と菓子、飲料寄贈（2 回）

立野

香野苑

（新型コロナウイルスの影響で活動休止）

献血呼びかけ

高岡南部丸美

イオンモール高岡

4 回

吉久睦

イオンモール高岡

2 回

伏木

イオンモール高岡

3 回、伏木コミュニティセンター

1 回

中田

イオンモール高岡

3 回

高岡中央

イオンモール高岡

4 回

福岡町

イオンモール高岡

3 回

立野

立野公民館

1 回

特記活動

伏木

ひとり暮らし高齢者との集い

（新型コロナウイルスの影響で活動休止）

会報「帆ばしら」第52号、第53号発行

福岡町

福岡小学校新入生に団員手作りの交通安全マスコット贈呈

立野

公民館清掃

魚津市地区	魚津市赤十字奉仕団 76名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 826人
	地域防災・救護活動 市防災訓練（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	施設等奉仕作業 新川ヴィーラ訪問
	献血呼びかけ アップルヒル 2回

氷見市地区	氷見市地区赤十字奉仕団 朝日丘 十二町 窪（東 休団） 計4団 92名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 221人（朝日丘110人、十二町15人、窪96人）
	地域防災・救護活動 十二町 地区防災訓練で炊き出し ふれあいウォークラリーで配食訓練 親子炊き出し訓練
	施設等奉仕作業 十二町 十二町保育園に消毒用タオル、パイナップルの鉢植え寄贈 あおぞらホーム、JA 結の里、いこいの家、はまなす苑、いちえに花苗提供 窪 施設奉仕（5回）
	献血呼びかけ ハッピータウン 朝日丘（1回） 窪（1回）
	特記活動 朝日丘 廃品回収（2回） 選挙での立会い協力 十二町 川尻バス停植栽（地域花壇、寄せ植え体験も地域で実施）

滑川市地区	滑川市赤十字奉仕団 69名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 170人
	地域防災・救護活動 県総合防災訓練 非常食配布
	施設等奉仕作業 清寿荘、カモメ荘（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	献血呼びかけ プラント3 3回
	特記活動 障がい者・家族レクリエーション大会に協力 自宅で寄贈のための縫製作業

黒部市地区	黒部市地区赤十字奉仕団 宇奈月 黒部市石田 計2団 48名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 216人
	地域防災・救護活動 宇奈月 災害時の研修会 黒部市石田 防犯パトロール
	施設等奉仕作業 黒部市石田 越之湖 花苗の植え込み 黒部学園 紙折りの作業 2回 友愛セール 越野荘、にいかわ総合支援学校（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	特記活動 黒部市石田 石田公民館まつり協力

砺波市地区	砺波市地区赤十字奉仕団 砺波市 庄川町 計2団 393名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 278人（砺波市227人、庄川町51人）
	地域防災・救護活動 砺波市 市防災訓練 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 庄川町 マンガ「災害時に逃げ遅れてしまう心の働き」を活用した研修会の実施
	施設等奉仕作業 砺波市 やなせ苑にひなまつり訪問 総合病院ボランティア （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 庄川町 ケアポート庄川 （新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	献血呼びかけ 砺波市 イオンモールとなみ 5回 庄川町 庄川支所
	特記活動 砺波市 砺波市福祉健康大会協力 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 砺波市ボランティアフェスティバル協力 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 砺波市ボランティア活動紹介展 キラキラミッションイルミネーション装飾 出町地区配食サービス協力 庄川町 公民館まつりで活動紹介パネル展示

小矢部市地区	小矢部市赤十字奉仕団 51名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 306人
	地域防災・救護活動 市防災訓練 救急訓練、炊き出し訓練
	施設等奉仕作業 清楽園 （新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	献血呼びかけ 市役所 2回
	特記活動 サマーボランティアの高校生と炊き出し、牛乳パックを使った一人用非常食セット作り

南 砺 市 地 区	南砺市地区赤十字奉仕団 福野 福光 井波 城端 井口 平 上平 利賀 計 8 団 342名
	ひとりくらし高齢者訪問活動（訪問人数） 704人（福野159人、福光222人、井波125人、城端123人、井口15人、平37人、上平9人、利賀14人）
	地域防災・救護活動 福野 中部地区訓練で炊き出し ゲートボール大会救護 2 回 井波 市防災訓練（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 南砺市民体育大会ゲートボール大会救護 老人クラブカローリング大会救護 井波なでしこ会民謡まつり 南山見地区防災訓練 井口 生涯フェスタで牛乳パックを使った一人用非常食セット作り指導
	施設等奉仕作業 福野 旅川デイサービス、福寿園（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 福光 やすらぎ荘（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 井波 いなみデイサービス、老人ホームいなみ、マーシ園（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 城端 となみ総合支援学校、特養きらら、老健うらら（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 井口 やすらぎ荘 5 回 花椿 1 回 井口デイサービスセンター 2 回
	献血呼びかけ 福光 福光庁舎 2 回
	特記活動 平 文化祭展示（災害時の備え、防災頭巾など） 高齢者配食に協力 上平 文化祭で活動パネル展示 高齢者への年賀状発送 利賀 バス停美化活動（花苗配布、水やり等） 三世代ふれあいクッキング 高齢者配食サービス事業に協力

射水市地区	射水市地区赤十字奉仕団 下村 大江 大島 新湊中央（大門休団） 計 5 団 256名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 533人（下村10人、大江48人、大島40人、新湊中央435人）
	地域防災・救護活動 大江 地区自主防災訓練（炊き出し） （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 大島 射水女性ネットワーク（炊き出し） （新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	施設等奉仕作業 大江 大江苑 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 大島 いみず苑 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 新湊中央 いみず苑 （新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	献血呼びかけ 大江 アルプラザ小杉 2 回 大島 射水市役所 1 回
	特記活動 下村 資源回収 2 回 餅つき大会に参加 大江 小杉小学校児童（JRC）とともにひとり暮らし高齢者と父子家庭への手作り 慰問弁当配布 大島 使用済み切手収集 大島小学校収獲感謝の集い （新型コロナウイルスの影響で活動休止）

入善町分 区	入善町赤十字奉仕団 123名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 393人
	施設等奉仕作業 おあしす新川 除草 2 回
	献血呼びかけ 町役場 1 回
	特記活動 愛の声掛け訪問 使用済み切手・アルミ缶資源回収

朝日町分区	朝日町赤十字奉仕団 162名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 305人
	地域防災・救護活動 町防災訓練 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	施設等奉仕作業 つるさんかめさん、有磯苑 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ 町役場 1回
	特記活動 地域見守り配食サービス事業（80歳以上306名に外注食を配食）

舟橋村分区	舟橋村赤十字奉仕団 42名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 18人
	施設等奉仕作業 デイサービスセンター (新型コロナウイルスの影響で活動休止)

上市町分区	上市町赤十字奉仕団 31名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 500人
	地域防災・救護活動 防災講座の受講
	施設等奉仕作業 常楽園、四ツ葉苑 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ 町役場 2回
	特記活動 上市高校生と NHK 海外たすけあい街頭募金の呼びかけ

立山町分 区	立山町赤十字奉仕団 228名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 330人
	地域防災・救護活動 災害救援ボランティア研修会参加
	施設等奉仕作業 雷鳥苑 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ 町役場 1回
	特記活動 釜ヶ淵地区地域子育てサロンで幼児安全教室を主催

資 料 Ⅱ

決算概要

(1) 令和3年度一般会計歳入歳出決算説明書

日本赤十字社富山県支部（単位：円）

歳 入							歳 出								
科 目	当初予算 (千円)	補正・ 流用	予算現額 (千円)	決算額(円)	予算比 (%)	前年比 (%)	備 考	科 目	当初予算 (千円)	補正・ 流用	予算現額 (千円)	決算額(円)	予算比 (%)	前年比 (%)	備 考
1. 社 資 収 入	184,000	27,858	211,858	233,045,652	110.0	101.7		1. 災害救護事業費	16,721	－1,000	15,721	14,627,189	93.0	95.0	
(1) 一般社資収入	166,000	23,481	189,481	197,819,689	104.4	99.0	指定寄付 病 院 23,885千円 乳児院 250千円	(1) 災 害 救 護 指 導 事 業 費	9,723	－1,000	8,723	7,803,973	89.5	102.6	大型サーキュレーター 2,393千円 災害救援車（2台） 1,500千円
(2) 法人社資収入	18,000	4,377	22,377	35,225,963	157.4	120.3	（指定寄付を除く社資） 208,860千円	(2) 災害救護装備費	5,983	0	5,983	5,823,216	97.3	90.4	
2. 委託金等収入	1,513	0	1,513	1,460,690	96.5	52.3		(3) 救 護 看 護 師 指 導 養 成 費	1,015	0	1,015	1,000,000	98.5	74.2	
(1) 委託金等収入	1,513	0	1,513	1,460,690	96.5	52.3	県物資備蓄倉庫等管理 業務委託金 1,461千円	2. 社会活動費	36,841	－3,900	32,941	29,853,994	90.6	104.7	
3. 補 助 金 及 び 交 付 金 収 入	2,184	0	2,184	7,850,917	359.5	210.8		(1) 救急法等普及費	9,076	－1,000	8,076	7,126,631	88.2	114.2	
(1) 補 助 金 収 入	0	0	0	0	－	－	施設整備交付金 5,863千円 ブロック訓練実施にかかる 交付金 328千円 システム保守管理費等 1,607千円	(2) 奉仕団活動費	11,146	－1	11,145	10,455,550	93.8	110.1	
(2) 本社交付金収入	2,184	0	2,184	7,850,917	359.5	210.8		(3) 青少年赤十字 活 動 費	9,267	－1,900	7,367	6,989,872	94.9	109.2	
								(4) 社会福祉活動費	5,852	－1,000	4,852	3,781,741	77.9	76.6	
4. 繰 入 金 収 入	0	15,126	15,126	15,125,841	100.0	－		(5) 医 療 事 業 費	1,000	0	1,000	1,000,000	100.0	100.0	
(1) 資金繰入金収入	0	15,126	15,126	15,125,841	100.0	－	特別退職金廃止に伴う 積立金取崩 15,076千円	(6) 血液事業費	500	1	501	500,200	99.8	114.9	
(2) 事業準備積立金 繰入金収入	0	0	0	0	－	－		3. 国 際 活 動 費	1,300	50	1,350	1,350,000	100.0	103.8	
5. 雑 収 入	1,563	0	1,563	446,849	28.6	84.5		4. 指定事業地方振興費	0	50	50	50,000	100.0	－	
(1) 利子収入	1	0	1	78	7.8	32.8		5. 地区区分交付金支出	25,631	816	26,447	26,446,050	100.0	109.1	
(2) 負担金収入	1,502	0	1,502	237,645	15.8	198.6	救急法等講習負担金	6. 社 業 振 興 費	28,309	－3,000	25,309	24,812,818	98.0	91.8	
(3) 雑 収 入	60	0	60	209,126	348.5	51.1		(1) 社 業 振 興 費	16,308	－3,000	13,308	13,280,433	99.8	100.7	
6. 前年度繰越金	28,000	0	28,000	37,640,180	134.4	108.1		(2) 広 報 活 動 費	12,001	0	12,001	11,532,385	96.1	83.3	
(1) 前年度繰越金	28,000	0	28,000	37,640,180	134.4	108.1		7. 基盤整備交付金・ 補 助 金 支 出	10,000	14,135	24,135	24,135,000	100.0	61.1	
								8. 積 立 金 支 出	28,779	32,456	61,235	61,180,607	99.9	242.8	
								(1) 資金積立金支出	22,620	32,456	55,076	55,075,841	100.0	283.0	災害等資金積立金 15,076千円 （特別退職金廃止に伴う） 積立金取崩 施設整備準備資金 40,000千円
								(2) 退職給与資金特別 会計積立金支出	6,159	0	6,159	6,104,766	99.1	106.5	
								9. 総 務 管 理 費	36,640	－1,000	35,640	34,564,049	97.0	100.6	
								(1) 評議員会等諸費	600	0	600	338,896	56.5	－	
								(2) 総 務 管 理 費	35,565	－1,001	34,564	33,749,993	97.6	99.6	
								(3) 監 査 費	475	1	476	475,160	99.8	101.5	
								10. 資産取得及び 資 産 管 理 費	3,193	28	3,221	3,220,087	100.0	78.1	
								11. 本社送納金支出	26,846	7,349	34,195	34,194,847	100.0	101.6	
								12. 予 備 費	3,000	－3,000	0	0	－	－	
歳 入 合 計	217,260	42,984	260,244	295,570,129	113.6	109.1		歳 出 合 計	217,260	42,984	260,244	254,434,641	97.8	109.1	

歳入決算額 295,570,129円 － 歳出決算額 254,434,641円 ＝ 歳入歳出差引残高 41,135,488円

(2) 令和3年度医療施設特別会計決算説明書

1. 収益的收入及び支出

富山赤十字病院（単位：円）

収入科目	予算現額	決算額	予算対比 (%)	前年度比 (%)	支出科目	予算現額	決算額	予算対比 (%)	前年度比 (%)
1. 医 業 収 益	11,782,045,000	10,890,593,584	92.4	100.7	1. 医 業 費 用	11,870,572,000	11,240,649,392	94.7	102.0
(1) 入 院 診 療 収 益	8,244,438,000	7,342,579,297	89.1	96.6	(1) 材 料 費	3,294,063,000	3,333,118,212	101.2	106.8
(2) 室 料 差 額 収 益	117,254,000	90,989,380	77.6	82.8	(2) 給 与 費	6,014,564,000	5,390,648,218	89.6	99.0
(3) 外 来 診 療 収 益	2,940,300,000	3,002,993,506	102.1	111.4	(3) 委 託 費	807,062,000	880,739,212	109.1	107.9
(4) 保 健 予 防 活 動 収 益	412,360,000	390,874,341	94.8	114.1	(4) 設 備 関 係 費	475,099,000	418,836,930	88.2	97.7
(5) そ の 他 の 医 業 収 益	81,764,000	75,661,650	92.5	95.0	(5) 研 究 研 修 費	41,829,000	18,364,825	43.9	110.6
(6) 保 険 等 査 定 減	-14,071,000	-12,504,590	88.9	109.2	(6) 経 費	504,083,000	470,813,911	93.4	102.4
					(7) 減 価 償 却 費	733,872,000	728,128,084	99.2	99.5
2. 医 業 外 収 益	214,507,000	989,908,522	461.5	191.6	2. 医 業 外 費 用	25,786,000	21,785,961	84.5	99.5
(1) 受 取 利 息	3,332,000	2,623,699	78.7	77.3	(1) 支 払 利 息	458,000	457,303	99.8	70.7
(2) 運 営 費 補 助 金 等 収 益	28,260,000	756,681,600	2677.6	254.9	(2) 看 護 師 等 委 託 養 成 費	4,960,000	3,200,000	64.5	100.0
(3) 施 設 設 備 補 助 金 等 収 益	96,185,000	125,082,390	130.0	88.6	(3) そ の 他 医 業 外 費 用	20,368,000	18,128,658	89.0	100.5
(4) そ の 他 の 医 業 外 収 益	86,730,000	105,520,833	121.7	140.0					
3. 医 療 社 会 事 業 収 益	400,000	10,000	2.5	31.1	3. 医 療 奉 仕 費 用	24,435,000	15,872,593	65.0	106.6
(1) 医 療 社 会 運 営 費 補 助 金 等 収 益	400,000	10,000	2.5	31.1	(1) 医 療 社 会 事 業 費	24,328,000	15,872,593	65.2	106.7
					(2) 社 会 活 動 費	107,000	0	0.0	0.0
4. 付 帯 事 業 収 益	92,560,000	111,445,541	120.4	96.8	4. 付 帯 事 業 費 用	118,284,000	101,545,760	85.8	50.4
(1) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	63,643,000	79,415,719	124.8	107.9	(1) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 費	83,101,000	77,980,468	93.8	106.0
(2) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 収 益	23,653,000	21,922,479	92.7	96.6	(2) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 費	26,204,000	15,459,106	59.0	71.1
(3) ケ ア プ ラ ン 事 業 所 収 益	5,264,000	10,107,343	192.0	206.3	(3) ケ ア プ ラ ン 事 業 費	8,979,000	8,106,186	90.3	162.8
5. 特 別 利 益	0	0	-		5. 特 別 損 失	20,000,000	4,094,447	20.5	32.1
(1) そ の 他 特 別 利 益	0	0	-		(1) 固 定 資 産 除 去 損	20,000,000	4,094,447	20.5	32.1
					(2) そ の 他 特 別 損 失	0	0	-	
					6. 法 人 税 等	4,396,000	-472,174	-10.7	-42.3
					7. 予 備 費	0	0	-	
収益的收入合計	12,089,512,000	11,991,957,647	99.2	104.7	収益的支出合計	12,063,473,000	11,383,475,979	94.4	101.0

2. 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	前年度繰越 事業費充当額	予算額に比し 増減	内 訳
病 院 収 益	465,012,000	341,633,754	12,364,000	135,742,246	
1 固 定 負 債	110,900,000	110,897,000	12,364,000	12,367,000	
					1 固 定 負 債 110,897,000
					(1) 借 入 金 0
					(2) リース未払金 0
					(3) 長期前受補助金等 110,897,000
					(4) その他固定負債 0
2 資産売却収入	0	0		0	
					2 資 産 売 却 収 入 0
					(1) 資 産 売 却 収 入 0
3 その他資本収入	354,112,000	230,736,754		123,375,246	
					3 そ の 他 資 本 収 入 230,736,754
					(1) 補 助 金 等 0
					(2) その他資本収入 230,736,754
資 本 的 収 入 合 計	465,012,000	341,633,754	12,364,000	135,742,246	

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	内 訳
病 院 費	477,376,000	341,633,754	0	135,742,246	
1 固 定 資 産	471,667,000	335,925,183		135,741,817	
					1 固 定 資 産 335,925,183
					(1) 有 形 固 定 資 産 327,345,183
					(2) 無 形 固 定 資 産 8,580,000
2 借入金等償還	5,709,000	5,708,571		429	
					2 借 入 金 等 償 還 5,708,571
					(1) 借 入 金 等 償 還 0
					(2) リース未払金支払 5,708,571
					(3) その他負債返済 0
資 本 的 支 出 合 計	477,376,000	341,633,754	0	135,742,246	

(3) 令和3年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算説明書

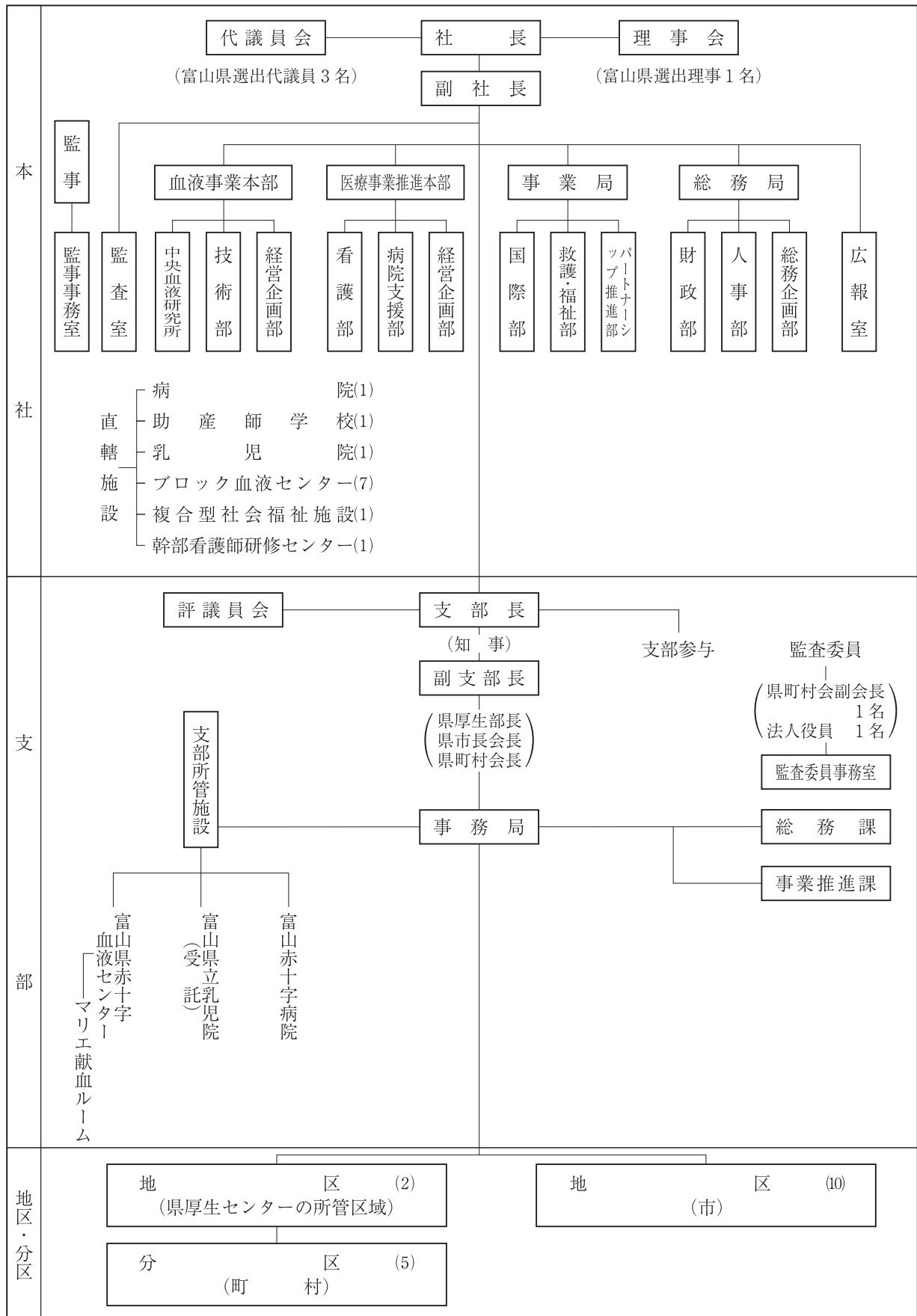
富山県立乳児院（単位：円）

収 入 の 部	予算現額	決算額	予算対比	前年度比	支 出 の 部	予算現額	決算額	予算対比	前年度比
事業活動による収入	175,712,000	171,089,141	97.4%	97.5%	事業活動による支出	193,454,000	184,685,332	95.5%	116.6%
児童福祉事業収入	173,647,000	170,118,069	98.0%	97.6%	人件費支出	168,348,000	162,909,180	96.8%	121.6%
受託事業収入	158,948,000	159,989,320	100.7%	98.8%	職員給料支出	69,687,000	69,340,242	99.5%	109.5%
乳児院事業収入（県）	149,884,000	151,154,920	100.8%	99.2%	職員賞与支出	20,450,000	20,417,920	99.8%	109.8%
里親支援機関事業収入（県）	8,504,000	8,476,000	99.7%	99.7%	非常勤職員給与支出	30,679,000	28,878,582	94.1%	93.8%
短期入所生活援助事業 （富山市、射水市ショートステイ事業）	560,000	358,400	64.0%	37.2%	退職給付支出	25,900,000	22,720,050	87.7%	—
補助金事業収入	14,699,000	10,128,749	68.9%	81.3%	法定福利費支出	21,632,000	21,552,386	99.6%	101.2%
病児・病後児保育補助金事業収入（富山市）	12,796,000	9,041,000	70.7%	78.4%	事業費支出	14,113,000	11,389,472	80.7%	95.9%
病児・病後児保育利用者等収入	1,200,000	384,000	32.0%	224.6%	給食費支出	4,818,000	2,379,397	49.4%	103.0%
新型コロナウイルス感染 拡大防止対策事業等収入	703,000	703,749	100.1%	91.9%	保健衛生費支出	861,000	860,833	100.0%	76.1%
					被服費支出	140,000	37,906	27.1%	39.8%
					教養娯楽費支出	269,000	119,477	44.4%	51.3%
					水道光熱費支出	4,508,000	4,483,780	99.5%	106.0%
					消耗器具備品費支出	2,401,000	2,400,999	100.0%	87.5%
					賃借料支出	755,000	746,196	98.8%	95.4%
経常経費寄附金収入	685,000	929,474	135.7%	95.3%	雑支出	361,000	360,884	100.0%	102.3%
経常経費寄附金収入	685,000	929,474	135.7%	95.3%	事務費支出	10,993,000	10,386,680	94.5%	83.6%
					福利厚生費支出	1,304,000	1,302,866	99.9%	103.7%
					職員被服費支出	50,000	49,410	98.8%	107.1%
					旅費交通費支出	175,000	170,958	97.7%	117.0%
					研修研究費支出	300,000	290,648	96.9%	296.5%
					事務消耗品費支出	1,355,000	1,341,897	99.0%	125.2%
受取利息配当金収入	30,000	11,598	38.7%	90.4%	印刷製本費支出	170,000	70,576	41.5%	53.4%
受取利息配当金収入	30,000	11,598	38.7%	90.4%	水道光熱費支出	490,000	486,642	99.3%	104.1%
					修繕費支出	1,330,000	1,302,427	97.9%	43.9%
					通信運搬費支出	780,000	779,277	99.9%	139.0%
					会議費支出	10,000	7,486	74.9%	238.9%
					広報費支出	710,000	702,550	99.0%	115.3%
その他の収入	1,350,000	30,000	2.2%	66.7%	業務委託費支出	2,076,000	2,038,532	98.2%	62.7%
受入研修費収入	150,000	30,000	20.0%	66.7%	手数料支出	183,000	140,867	77.0%	96.5%
雑収入	1,200,000	0	0.0%	—	保険料支出	220,000	194,910	88.6%	100.3%
					賃借料支出	234,000	121,364	51.9%	52.1%
					租税公課支出	25,000	—162,836	—651.3%	—45.0%
					保守料支出	1,332,000	1,315,414	98.8%	186.8%
					雑支出	249,000	233,692	93.9%	129.2%
施設設備等による収入	0	0	—	—	施設設備等による支出	3,000,000	1,395,069	46.5%	—
その他の活動による収入	27,750,000	23,209,850	83.6%	311.7%	その他の活動による支出	7,008,000	6,944,091	99.1%	111.7%
他会計繰入金収入	2,750,000	2,555,260	92.9%	34.3%	その他の活動による支出	7,008,000	6,944,091	99.1%	111.7%
一般会計繰入金収入	250,000	489,800	195.9%	6.6%	その他の支出	7,008,000	6,944,091	99.1%	111.7%
医療施設特別会計繰入金収入	2,500,000	2,065,460	82.6%	—					
その他の活動による収入	25,000,000	20,654,590	82.6%	—					
その他の収入	25,000,000	20,654,590	82.6%	—					
収入合計額	203,462,000	194,298,991	95.5%	106.3%	支出合計額	203,462,000	193,024,492	94.9%	117.3%

当期収入決算額 194,298,991円 － 当期支出決算額 193,024,492円 ＝ 1,274,499円

日本赤十字社富山県支部の関係組織図

令和4年4月1日現在



※富山赤十字看護専門学校は、令和3年3月31日をもって閉校となりました。

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。